

中 岳



熊本市歯科医師会会誌

第 76 号

中根会長 年頭所感

新年パーティー

在宅寝たきり者歯科保健推進事業 Part III

目 次

年 頭 所 感	中 根 俊 吾	1
新 年 会		2
大島慶久後援会		4
在宅寝たきり者歯科保健推進事業報告 Part 3		5
第10回九州八市歯科医師会役員連絡協議会	関 剛 一	12
学 術 講 演 会		
「今患者さんは総義歯に何を求めているか」	永 田 省 蔵	14
救急蘇生法講演会	有 吉 洋	15
第6回ビデオ研修会	川 崎 俊 明	16
講演会「医療事故と法医歯科学に関連した事件例」	鳥 取 孝 治	17
委 員 会 だ よ り		
口腔衛生委員会		19
学校歯科委員会		21
第3回三歯会座談会		25
移 動 理 事 会		26
委 員 会 紹 介		
医療管理委員会		27
学 術 委 員 会		30
スタディグループを追って (KDRG)		35
勉 強 部 屋		
「クラウン・ブリッジにおけるレジン個歯トレー印象法」	菊 川 明 彦	37
本 日 休 診		
「サンアントニオ市テキサス大サンアントニオ校歯学部を訪ねて」		
	伊 東 隆 利	41
新人会員紹介		44
会 務 報 告		47
編 集 後 記		

年頭所感

地域に根ざした歯科保健の将来への展望を求めて！



熊本市歯科医師会会長

中 根 俊 吾

新年おめでとうございます。年頭にあたり会員各位、ならびにご家族の皆様には健やかに新春を迎えられたこと、謹んでお慶び申し上げます。

旧年は会務の全般に亘り、そして又、対外事業につきまして多くのご教示とご協力を戴きました。茲に厚くお礼を申し上げます。

本年もまた会の内外に数々の課題を抱えています。

最近の世界情勢の変化は誠に目まぐるしく、政府の対応も国際協力、経済支援、貿易摩擦解消など難題は山積し、一方バブル崩壊による国内経済の混乱も著しいものがあります。

このことは私共の歯科医療にも今後さまざまな形で波及してくるものと考えられます。

殊に診療報酬の改定や老人保健法の改定にどのように影響するのか予断を許さないところです。

しかし乍ら、現在、中医協で実質審議がなされている診療報酬については、私共の経営の安定化や、マンパワーの確保のために技術料をはじめとする医療行為の適正評価など、適切充分な改善がなされることを強く望んで止みません。

ところで、熊本市は昨年二月の四町合併により将来に向けて大きく飛躍する第一歩を印しました。

中でも、保健、福祉については国の方針にならい乍らも、熊本市レベルでの多くの積極的な施策が打出されており、高く評価されるべきことだと存じます。

これに伴い私共歯科医師会も地域に根ざした歯科保健の将来への展望や具体的な対策が求められており、従来にも増して私共の役割が大きく、重要になっていることを意味しています。

私共はこの時に当って、大きな視野に立って地域社会に貢献する努力をしなければならないでしょう。

更にこのことは、翻って私共の評価を高め又、幸せにつながっていくものと信じています。

今後も、今迄以上に関係機関と充分な検討を加えながら、各々の責任分担を明確にし、地域社会の要請に応えていく所存です。

そのためには、会員皆様の一層の団結と英知を結集して頂きますと共に、旧年にも倍しての会務へのご理解、ご助力の程をお願い申し上げる次第です。

茲に、会員各位ならびにご家族皆様のご健勝とご多幸を心から祈念いたしまして、新年のご挨拶といたします。

平成4年元旦

翔け21世紀 地域歯科医療福祉の推進！

92年 熊本市歯科医師会新年懇親パーティ



恒例の熊本市歯科医師会新年懇親パーティーが、去る1月18日（土）、午後6時よりニュースカイホテル東館6階の「すいしょうの間」に於いておこなわれました。

来賓5名、会員の同伴者27名含め総数164名の出席のもと、奥田洋実厚生副委員長の司会により進められ、熊本市歯科医師会会長中根俊吾先生の、地域歯科保険医療、福祉の推進というテーマにそった年頭の挨拶があり、続いて来賓として、熊本市保険衛生局長後藤勝介氏より田尻熊本市長のメッセージの代読、熊本市市民局長坂西泰一氏



本年の会の躍進と会員の協力を
と挨拶する中根会長

の御挨拶、更に熊本県歯科医師政治連盟幹事長三村保先生の、日歯政連の第16回参議院選挙への取り組み及び会員への御協力を呼びかける挨拶に続いて、参議院議員大島慶久先生が、参院選への会員の支援を訴える挨拶をされました。

次に平成3年度の特別功労者として赤城邦雄先生の御紹介、更に新入会10名の先生方の壇上からの自己紹介があり、司会者の言葉を借りると、その勇氣と無謀さに会場からの拍手をあげました。

午後7時過ぎ、前熊本市歯科医師会会長川崎正士先生の乾杯の音頭でまちなねた開宴となりました。華やいだ雰囲気なかで、しばし食事

に、ビールに、酒に、懇談の宴が盛り上がってきました。祝電の披露、中根会長と、古賀理事による奥様方へのテレフォンカードのプレゼント等があり、ムードが盛り上がったところで、例年の名

物男、ホテルの広田さんの司会で、いよいよ会員お楽しみの福引き抽選会、米10kg、みかん10kg、宮沢りえ写真集等の賞品に、歓喜と溜息が会場にあふれました。ゴミと思ってボーイに抽選券を持っていかれた先生も、番号はしっかり覚えていて当選になりました。商品の自転車をおして帰られた先生、御無事で帰宅されたでしょうか？約3時間弱のパーティもお開きの時を迎え、鈴木勝志副会長の万歳三唱で散会となりました。

会場でのワンショット



会員の為役立てるなら
抽選の役でも！



花の高3トリオとはい
えませんが？



4月は忙しくなりそうな
県市社保担当理事2人



ゆっくり見せてあげますから
あわてずに。



今年も10人の勇敢な
特攻隊が集合（新人会員）



この米で1カ月は
生き延びられるわ！



私は疑い深いので、
中身をしらべます。



先生この自転車に
乗ってかえられます？

21世紀への歯科界の代弁者として

参議員比例代表候補 大島 慶 久



1月18日(土)

熊本市歯科医師会主催の大島議員の講演会が新年パーティの前に行われた。

熊本市会員の諸先生ならびにご家族の皆様におかれましては、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年、私は大蔵委員会、環境特別委員会等の審議を通じ予算編成、湾岸紛争処理問題、政治革命問題、宮沢新政権の誕生、またPKO国連平和維持協力法案等の審議に加え、自民党を代表しての質問など慌ただしい国会活動に終始いたしました。このたびは、昨年3月20日日歯政連第56回評議員会において、次期参議院比例代表候補にご指名をいただき、全国会員各位に対する感謝の気持は生涯忘れることができません。

熊本県におかれましては、特に11月21日熊本市で開催されました総決起大会におきましては、宇治県会長、中根市会長はじめ役員関係各位のご尽力を賜り千人集会を開催していただき誠に有難うございました。当日はあいにく参議院本会議の為出席できず自民党社会部会長の畑英次先生に代ってご出席をお願いし会員各位には大変申し訳なく存じております。

決意文

歯科界を取り巻く環境は大変難しいものがありますが、このたび診療報酬2.7%引上げは、中原日歯会長を先頭に執行部が一丸となって真剣に取り組み、過去の落込みを取り戻す努力がなされましたがこれは会員が満足にはほど遠いものでありますことは、十分に私にも理解しております。今後とも会員の代弁者として1%でも引上げ改定が行われますように地道に努力致します所存であります。

このほかマンパワーの確保、医療法改正、医療税制等中・長期的な諸問題が山積いたしております。これら諸問題に対して中原会長はじめ日歯執行部のご指導を仰ぎつつ、また関口、小暮、井上議員諸先輩のご指導をいただき、国会における会員の代弁者として歯科界の前身のため働く決意であります。



講演者と熱い握手をかわされる大島議員

何卒、講演会活動については3月末まで一層のご支援を心よりお願い申し上げますと共に、諸先生はじめご家族の皆様方のご隆昌を祈念しご挨拶といたします。

特集

在宅寝たきり者歯科保健推進事業

Part III

担当理事より一言

本年度7月にスタートした本事業は協力医、歯科衛生士会、並びに関係各位の御協力により、何ら事故もなく円滑に推進しております。

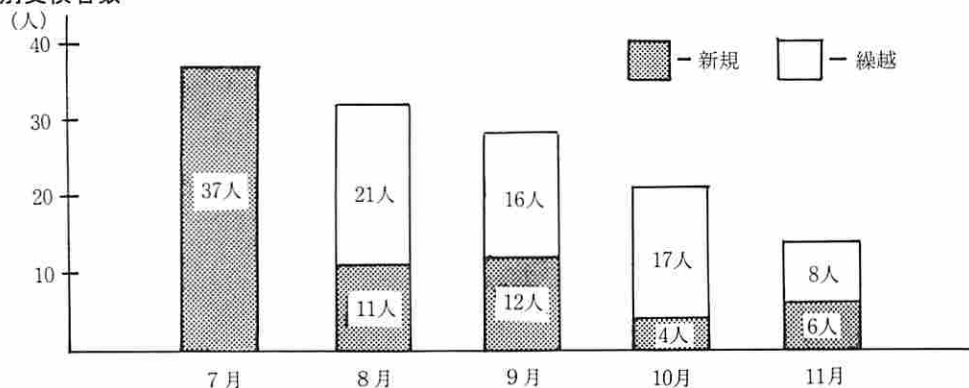
これも協力医各位の積極的な高齢者歯科保健に対する対応のおかげであると感謝申し上げます。

さて、事業評価委員会では7月より11月まで5ヶ月間の本事業の実績をまとめましたのでここに報告致します。

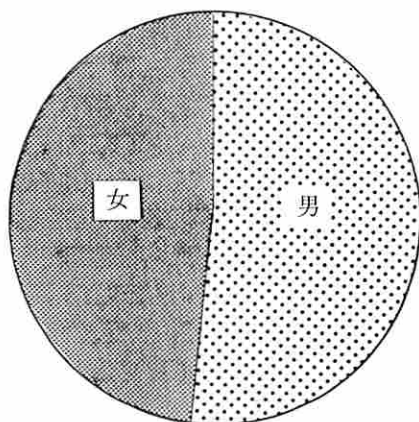
専務理事 関 剛一

グラフで見る推進事業実績報告

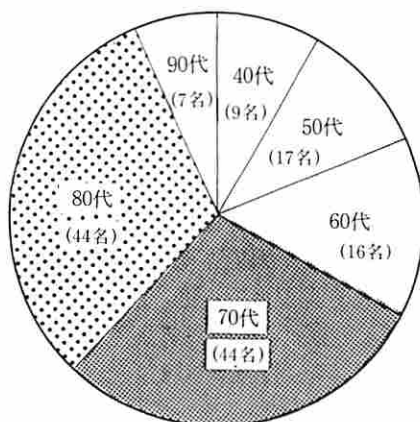
①月別受検者数



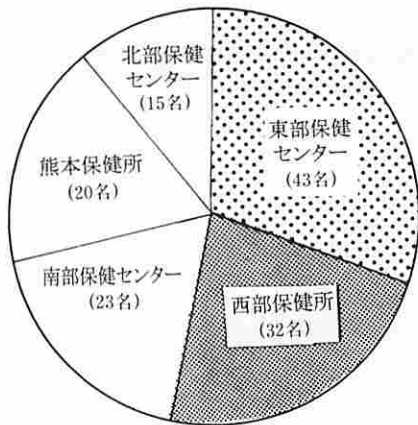
②男女別比率



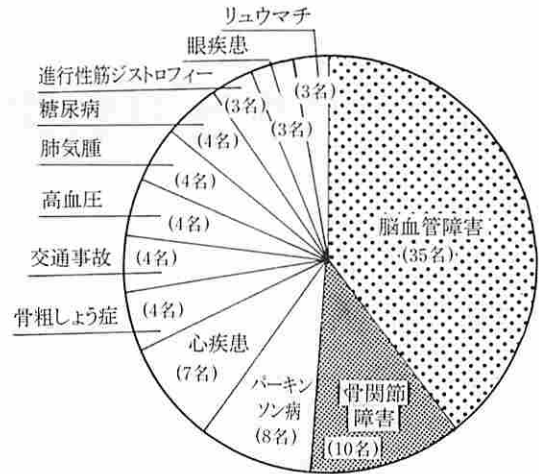
③年令別受検者数



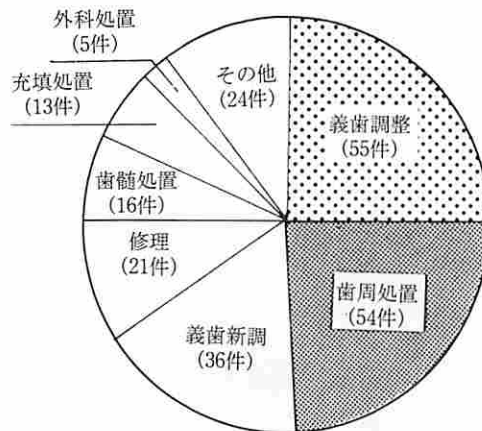
④保健所・センター別受検者数



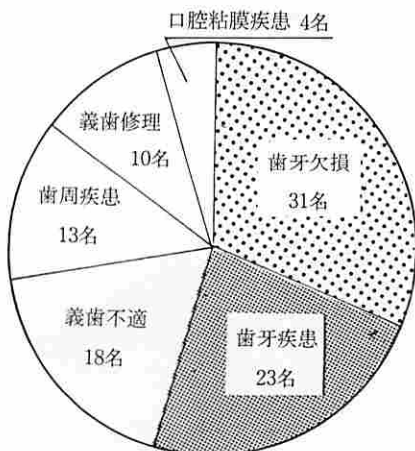
⑤寝たきりになった理由



⑥処置内容



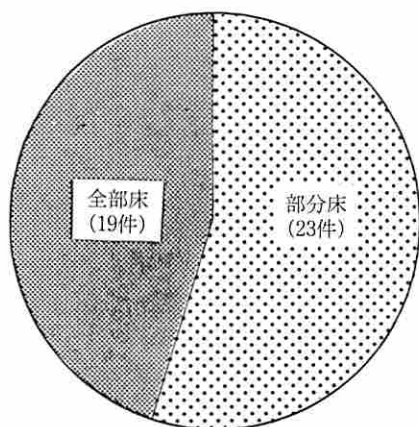
⑦寝たきり者の主なる口腔内疾患



⑧寝たきり者平均年齢

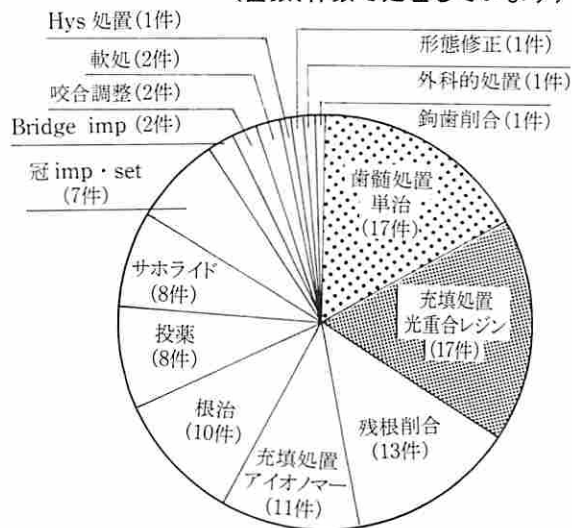
男性39名	女性36名
69.7才	78.6才

⑨ 義歯新調の分類

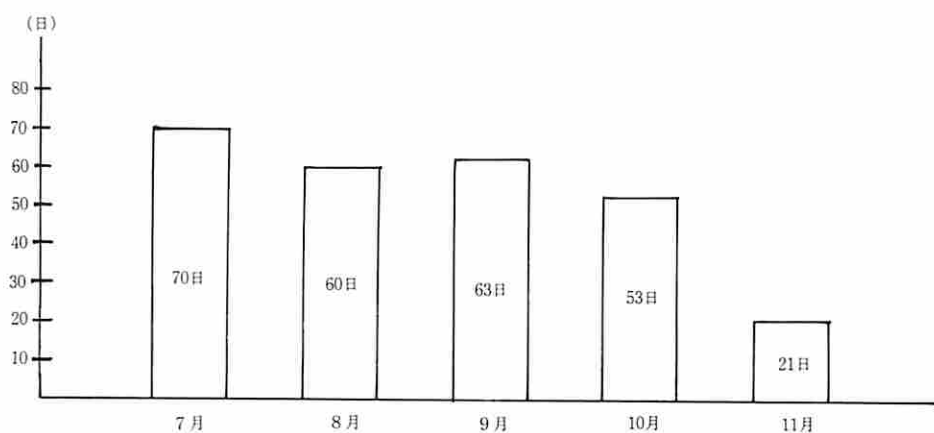


⑩ 義歯以外の処置内容

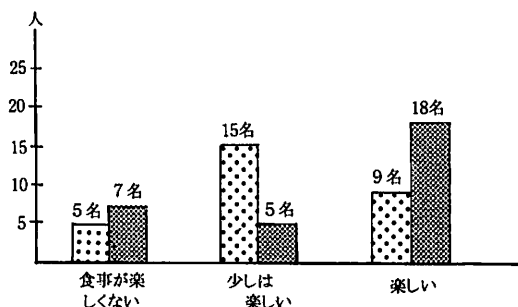
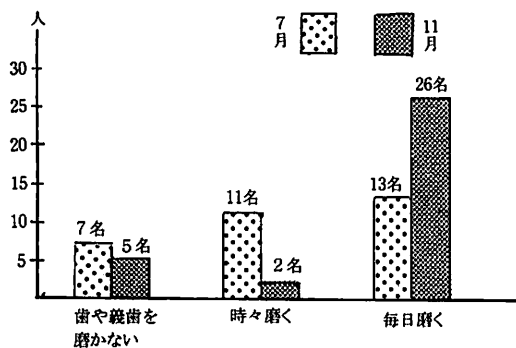
(歯数、件数で処理しています)



⑪ 月別診療実日数



⑫ A.D.L 状況



受診者の感想

「喜びの声」

- 1、歯医者さんに来てもらって普通の食事ができるようになったと喜んでいました。
- 2、入れ歯が当たって痛いのがとれたので御飯がおいしくなった。
- 3、1回で終わった、痛みもなくとても良かったです。
- 4、歯石まで取ってもらって有り難かった。
- 5、入れ歯を削っただけだが、歯肉に当たらなくて具合が良くなった。
- 6、入れ歯ができたので良かった。
- 7、とても有り難かった。今も時々調整してもらっている。もっと広く、沢山の人にも知らせて欲しい。
- 8、治療が終わってうれしい。今までは1Fが駐車場で診療室は2Fが多かったので悩んでいたが、家にまで来てもらえて嬉しい。ずっと長く続けて欲しい。
- 10、食事の時間が早くなった。
- 11、近くの先生で助かった。
- 12、調整中に引っ越したため、娘の家に1回、息子の家に2回来てもらってとても有り難かった。

った。90歳で歯肉が減っていたが、良く噛めるようになった。

- 13、ボランティアの人が歯科医院へ連れていってくれた。また、その歯科医院からブラッシング指導にも来てくれて嬉しかった。
- 14、立派な義歯ができて有り難い。しかし、感が鈍るせいか食事の時は義歯をはずしている。食後はきちんと入れて喜んでいる。
- 15、先生に何回も連絡を取ってもらったり、思い荷物を抱えてきてもらって気の毒だった。
- 16、日曜日にきてもらえて有り難かった。

「要望」

- 1、今後も続けて歯磨きテストにきてもらいたい。
- 2、ヘルパーさんの時間と一致したらいいと願っている。
- 3、申し込みに時間がかかり、痛みがでたので歯科医院へ連れていった。もっと早く来て欲しい。

(家族より)

会員の治療体験録

①合沢康生（東部3支部）

「老いてゆく自分の姿を考えつつ診療を行う」

寝たきり者歯科診療は決して他人事ではない。
将来、必ず自分も年を取り老人と成ってゆく。
今から行くのは自分の姿を見るのかも知れない
と思いつつ、近所の在宅寝たきり者歯科診療に
向う。

〔症例〕

男性：大正10年3月11日生 70才

主訴：入れ歯がぐらぐらする。

聴力障害 無、痴呆 有、高血圧

脳血管障害 有

3	2	1	4
7	—	2	4—7
7—4	—	4—7	

 C 4 義歯装着

当初、私は在宅寝たきり者歯科診療協力医ではなかった。友人のO君と相談した所、ねたきり老人の口の中というのは、不潔で歯みがきはしない。義歯の手入れはあまり出来ていない。口の中を見ただけでゾッとする様な感じで、いくら治療をしても全然ダメ。例え一生懸命治療した所で、事故が起っても結局悪いのは歯科医という事になる。そうかなと思える所もあるので、それなら止めようと思ったのだ。

〔第1回診療〕

突然、歯科医師会本田さんから電話をうけた。私の近所の患者さんで、以前私の所で治療を受けた事のある人から、治療を希望されているという事だ。私の所を近所という事で希望されているらしい。御指名とあらば、断わる訳にもいくまい。早速、協力医の手続きをとる事となった。

症例は上記の如くで主訴は上顎義歯の脱落であった。

〔3〕は、自然脱落、上顎義歯は金属床で所々に追加修理のあとがみられ、〔4〕部あたりに残根がみられる。恐らく〔3〕が存在した時はそうでもなかったのだろうが、〔3〕が脱落して義歯が不安定になったものと思われる。とりあえず、義歯安定剤の使用をすすめてみた。又入院する機会があるなら、残根を抜歯して義歯を追加修理するか、新製するかまだまだ方法はある由、説明だけは充分にした積りである。

1週間程して、こちらから電話を入れてみた。すると具合が良くなった、との事で、それなら大丈夫と思った。……かに思えた。

〔第2回診療〕

5ヶ月後、再び本田さんから電話を受ける。再び同一患者さんから同じ主訴の診療を希望されているらしい。上通りの病院に入院中であるとの事だ。上顎義歯は残根歯が、4～5本ある時に作られた金属床で、無口蓋義歯に近く、口蓋部が大きくえぐってある為に、無歯顎になると脱落しやすいのだろう。今度は〔3〕欠損部の追加修理及びリベース、又希望があれば下顎の残根抜歯の用意をして、私の所スタッフ4名で上通りの病院に出かけた。

時間は木曜日の3時30分頃、血圧と発熱に注意しながら、既存の義歯に〔3〕人工歯を追加修理し、即重レジンにてリベースを行った。

然し、粘膜面の小さい金属床である為にあまりうまく行かず、再び口蓋部を伸ばして大き目にリベースをやり直し治療を終えた。尚、下顎の残根は抜歯を希望されなかったのも、行なわなかった。うまく行ったかどうか、あまり自信がなかったが、現状としては精一杯努力した積りである。然し、2時間で1人しかみれないというのも少しきついな、という感じもした。

以上症例報告みたいになってしまったが、自

分が年を取って、「自分ならどうしてももらいたいか」と考えてみるのも、寝たきり者歯科診療には必要なことではあるまいか、と思った。

②恵福和志（小島支部）

「患者、息子、孫、曾孫の4代を診療する」

7月13日（土曜日）

在宅寝たきり者歯科診療の依頼書が熊本市歯科医師会より届く。いよいよ、往診に行かなくてはなくなってしまう。見れば、約20年以上歯科医院にかかった事が無いとの事。4年間老人病院に勤めていたので、老人の治療には慣れているつもりだが、果たして患者さんから喜んで治療させて頂けるか不安である。

7月15日（月曜日）

患者さん宅に電話し、7月19日に何う事を約束する。すぐ、熊本市歯科医師会にその旨を連絡する。

7月19日（木曜日）

患者さん宅に何う。今日は口腔内の検診と治療計画作成を行う。難聴だが、なんとか大声で会話が出来るので安心する。初めて知ったのだが、息子さん、お孫さん、曾孫さん、3代にわたって我が歯科医院の患者さんとの事。本患者さんも含めて4代の患者さんを診療させて頂く事になる。有りがたい事だ。

口腔内の状態は生まれて一度も義歯を装着した事が無い。顎堤の状態は比較的良い。4と5が残存しており鉤歯として使えそうだが、3 1 2 3 4 がC4の状態では抜歯か、もしくは残根上の義歯としなければしかたがない。

義歯を作成する事は比較的容易に思われた。只、問題は患者さんに使用して頂けるかどうかだ。普通の患者さんでも、最初に義歯を装着する時に抵抗があるというのに、今回は87歳の今

まで義歯を装着した事の無い寝たきりの患者さんである。新しい義歯に慣れてくれるとはとても思えない。老人病院に勤務時代、苦勞して義歯を作成しても、なかなか使用してくれず、さんさん空虚な気持ちにさせられたものだ。今回もそれに似た様な気がする。

患者さんの家族に新しく義歯を作成しても、それに慣れて頂く為には、大変な努力がいる事。咀嚼筋群も機能低下しており義歯を入れたからと言ってすぐに食事が出来るものではない事。この様な患者さんの場合味覚がおちたといって、使用してくれない場合がある事等々を説明したが、是が非でも義歯を入れてくれという家族の強い要望で治療を開始する事にした。

患者さんの状態を考えて残根を削合し印象をとる事を決定する。

7月20日（金曜日）

熊本市歯科医師会に電話。タービンをお借りしたい旨を伝え、7月27日（土曜）に使えとの事。すぐに予約し、患者さんにその旨を連絡する。

7月27日（土曜日）

患者さん宅に何う。熊本市歯科医師会より衛生士の本田さんに来てもらいアシストして頂く。残根削合もきれいに出来、印象も満足のいくものが採得出来た。普通だったら、個人トレーを作成してもう一度印象採取を行うのだが、ベッドサイドで手間がかかる為、本印象で義歯を作成する様にする。本田さんどうもお疲れ様でした。

8月1日（木曜日）

ベッドサイドで苦勞しながら普通の3～4倍の時間をかけて咬合採得を行う。ホームグランドでないのが辛い。

8月9日（金曜日）

試適を行う。患者さんも、家族も、人工歯の配列具合を見て喜んでくれる。患者さんならば

に家族からこれだけ喜ばれると自分も嬉しい。
しかし、はたして患者さんが義歯を使用してく
れるかは不安である。

8月22日（木曜日）

義歯装着を行う。フィットチェッカーとPI
Pで粘膜との調整を入念に行い、咬合調整も入
念に行った。自分としては満足ゆく仕事が出来
たと思う。患者さん自信では取り外しが出来な
いので、家族の方に取り外し方を指導する。患
者さんには、最初からいきなり慣れるのは無理
があるから少しずつ慣らしていくように説明す
る。只でさえ、順応性が低下している患者さん
が義歯に慣れてくれるかは不安である。

8月26日（月曜日）

義歯調整を行う。出来るだけ装着しているが、
食事の時は外すとの事。それも致し方の無い事
だと言う。長い間の習慣を急に变えろと言う方
が無理だと思う。自分も一生懸命になって義歯
を作成したから、少しでも長く装着してくれる
様にお願いします。

8月28日（水曜日）

2度目の義歯調整を行う。義歯を見たところ
余り使用していない様である。一方的に自分が
押し掛けて行くのも何か『ありがた迷惑』の様
な気がして、以後は必要な時に連絡していただ
く様にした。

最後に、この原稿を書くにあたり、患者さん
の御自宅の方へ連絡したが、食事の時以外は使
用してくれている様である。義歯として機能し
ていないという事で、歯科医師としては不満で
あるが、今まで20年以上に渡ってほぼ無歯顎状
態にあった患者さんが少しでも使おうと努力し
てくれている事に感謝せざるを得ないかも知れ
ない。

今回の在宅寝たきり者歯科診療では、患者さ
んのお宅での診療がいかに難しいかと言うこと
と、自分が歯科医師としていかに地域社会に関

わっているかということを改めて感じました。

まとめ

協力医各位には検診時にA、D、L、（日常生
活動作）状況並びに口腔状況を調査していただ
いておりますが、5ヶ月が経過して7月に調査
を行った37名の在宅患者についてフィードバッ
ク（再調査）を行った。状況表の通り各項目毎
にPointを定めたのであるが、確実にA、D、
L、状況は上がっている事がうかがえる。特に
人と話せる様になった。自分で食べられる様にな
った。歯や義歯を毎日磨く様になった。又は
家族の方に磨いていただく様になったと歯科治
療、相談、指導の効果が上がっていると思われる。
又、人と毎日会いたくなった。食事がとても
楽しいと在宅患者の日常精神的安定の度合い
が治療前と治療後ではその変化が如実に現わ
れている。

口腔状況においては全項目について治療の効
果は大である。痛みがなくなった。食事が出来
る様になったという効果が出ているのであるが、
反面5ヶ月経過した後でもまだ痛みがあり、食
べにくいという患者に対する対応が今後の問題
であろう。フィードバックをすると患者及び家
族の口腔衛生に対する意識の向上があまり見ら
れない事も多々ある。それらの問題を解決すべ
く本事業実施部会ではアフターケアをより確
実にするために衛生士による訪問相談、指導を
行える様な体制作りを考えねばならぬと思っ
ている。

第10回

九州八市歯科医師会役員連絡協議会

専務理事 関 剛 一



熊本市が実施している寝たきり者歯科保健推進事業に注目された協議会

日 時 平成3年11月29日（金）

場 所 那覇市「ジスタス」会議室

第10回標記協議会は今年度は那覇市に於て開催された。

本会からは今年度協議題は提出せず次ページの通り「報告」と「提案」を提出した。

特に寝たきり者歯科保健推進事業においては各市の対応を含め注目された。又社保担当者連絡協議会の設置提案事項について情報交換会にしてはという意見が多く持ち越し継続審議となった。

第10回九州八市歯科医師会役員連絡協議会協議題

会 名	提 出 協 議 題
福岡市歯科医師会	な し
大分市歯科医師会	1. 衛生週間行事の内容並びに広報活動方法について 2. 過去5年間における厚生行事（レクリエーション行事）について イ）行事内容 ロ）予算額並びに参加者負担額 ハ）年間開催回数
佐賀市歯科医師会	1. 大規模歯科医院（歯科医師3人以上）の規制について
長崎市歯科医師会	1. 各市における地域歯科医療の現況について 2. 各市における歯科医増の現況について 3. 各市における医療廃棄物処理の現況について
熊本市歯科医師会	（報告）熊本市在宅寝たきり者歯科保健推進事業 （提案）九州八市歯科医師会社保担当者連絡協議会の設置
鹿児島市歯科医師会	1. 休日夜間急患歯科診療の各市の実施状況について 2. 会員の納入する会費と会員への給付について 本歯会では特別の事由による会費の減免の規定があるが適用したことがない。各市で終身会員以外の減免の事例があれば教示下さい。療養見舞金は支給期間を5年間としているが委員会が認めた時は延長できることとなっているが、各市はどのようにしておられますか。 3. 歯科医師の適正配置について（大規模歯科診療所、分院の進出について） 各市の対応又はお考えをお聞かせ下さい。 4. 特定療養費のアンケート、給付外歯科診療を保険に導入することについての調査があったがこのことについて各市のご意見を承りたい。このような調査よりも、保険制度の導入以来長年を経過しているので歯科衛生士、歯科技工士、歯科助手、受付事務などの職能を必要としている現在では全面的に見直すべきだと考えている。
宮崎市郡東諸県郡 歯科医師会	1. 市（行政）から補助金等を受けておられる場合、その内容と金額を教えて下さい。（休日在宅医、歯の衛生週間等） 2. 廃棄物について 会員事業所の産業廃棄物はどのように処理されていますか。 医療廃棄物に関してはいかがでしょうか。
南部地区歯科医師会 （沖縄）	1. 貴会に於ける会費引去り業務について具体的に御教示下さい。 (1)口座引去様式、覧表（専用用紙型式）見本をご提供下さい。（資料1） (2)上記用紙に手書き部分の表示があればお加え下さい。 (3)上記につき銀行委託作業の範囲 (4)これらの作業がコンピューター化されていますか、検討中ですか。（資料2） 2. 高校歯科検診の対応方法と検診料の収受について御教示下さい。 ①校医の責任において全部まかせているのか。 ②会で検討班を結成して校医に託している。 ③その他の方法 ④①の場合の検診料の収受 ②の場合の検診料の収受（校医、歯科医師会、各検診者）

熊本市歯科医師会学術講演会

『今患者さんは総義歯に何を求めているか』

横浜市開業 加藤 武彦 先生

去る11月9日（土）、熊本県歯科医師会館3Fホールに於いて、約200名の参加者を得て開催された。まず講演に先立ち中根会長が、近年歯科医師会が力を入れ取り組んでいる在宅医療の現状と今後の方向性を示された後、講演に移った。加藤先生の講演内容は前半は総義歯について話され、義歯装着患者の多くが痛くて咬めないという主訴で来院されるのに対し、即日で旧義歯を改造し咀嚼機能を回復させるという即日



旧義歯を改造することが難症例を解決する鍵であると講演される

義歯改造法である。一般に難症例といわれるものには、旧義歯による顎堤粘膜不良、顎位の変化に伴う咀嚼機能の低下が見られる。その様な場合、たゞちに新義歯作製に移らず、旧義歯を改造したプロビジョナルデンチャーでの粘膜面

の調整や正しい顎位の獲得により咀嚼機能を十分回復させることが新義歯作製の前処置に於いて不可欠のことであり、同時に患者の不満を解決することにより精神的充実を計ることが重要

であると述べられた。この様な義歯の機能面のみならず精神的なサポートは後半の在宅医療にもつながり、多くの在宅診療時のスライドからも医療を通しての患者との心の交流の大切さを訴えられた。現在では歯科医療も発達、細分化

され、ややもすると術者サイドの立場に立った医療になりがちな点もあるように感じるが、今回の難症例義歯と在宅医療の講演はあらためて医療の本質への問いかけでもあったように思う。

学術委員 永田 省蔵

救急蘇生法講習会開催される

100名近くの参加者を集め、不測の事態に対する各医院の関心の高さをしめした



マネキンを利用した人工呼吸、心臓マッサージの実習風景

去る平成3年11月26日、27日の両日、救急蘇生法講習会が学術、医療管理両委員会の主催で開催されました。

近年、日本においても、医療訴訟が急増している事もあり、平日の夜間にもかかわらず両日ともパラデンタルスタッフを含む100名近い参加者があり、各医院の熱心さ、関心の高さがうかがわれました。

講習会はまず、中根会長の挨拶の後、伊東学術担当理事が、最近の医療訴訟の内容について具体的な例をあげながら、その対策等について詳しく講演され、それに続き木村(26日)、有吉(27日)の両学術委員による救急蘇生法の解説が行われた。

内容として

- 1) 全身状態の評価
 - a 問診(問診表の自己記載)
 - b 既往歴
 - c 視診
 - d 触診(脈拍 etc)

2) 局所麻酔時の注意

歯科において、救急蘇生の必要な場合は局麻直後の場合がほとんどであり、この為、極力ショック症状等を起こさない様な局麻

時の注意

3) 異常時の診断

もし異常が起った場合の正確な診断

- a 神経性ショック
- b アナフィラキシーショック
- c 局麻中毒
- d 過換気症候群
- e 狭心症
- f 心筋梗塞症等の鑑別診断法

又、それに対応する療法。

4) 救急蘇生の手順

a 意識のある時

- ① 血圧、脈拍の測定
- ② ベルトをゆるめる等
- ③ Trendelenburg 体位

b 意識のない時

- ① 気道の確保
- ② 人工呼吸
- ③ 心臓マッサージ
- ④ 薬剤の使用

等の解説が行なわれた。

講演後マネキンを使用しての人工呼吸、心臓マッサージ、血圧測定、静脈確保の実習が行われ、これと平行して、救急薬剤の使用期限等のチェックが行なわれ、各医院スタッフ共に汗だくになって真剣に実習されていました。

講演会の感想として

救急蘇生のポイントは、各医院において不測事態に対し、救急用の器材、薬剤等の準備、緊急時の救急車、救急病院等の連絡体制等、担当スタッフを決め、定期的に訓練をしておく事が重要であると思いました。

学術委員 有吉 洋

第6回 ビデオ研修会

「半調節性咬合器の使用法」及び 社保説明会

平成3年10月29日（火）PM7：30より熊本県歯会館2Fにおいて、第6回ビデオ研修会が行なわれた。このビデオ研修会は身近かなテーマを毎回取り上げての手づくりの研修会としてスタートしたが、会員の先生方へも、十分に浸透してきたようで今回も会場は満席となる出席者数だった。



臨床的には、半調節性咬合器が適当で、その特徴をよく理解するようにと強調される奥村委員

当日のテーマは「半調節性咬合器の使用法」でビデオは Whip - Mix 咬合器を使つての内容であった。つづいて学術委員の奥村敏之先生によるスライドを使った学術解説が行われた。

1. 半調節性咬合器とは（咬合器の分類）

イ）下顎運動の再現性による分類

- A 単純ヒンジ型咬合器（平線咬合器）
- B 平均値咬合器
- C 半調節性咬合器
- D 全調節性咬合器

ロ）構造上の分類

- A コンダイラー型咬合器
デンタータス・ハノーH₂O
- B アルコン型咬合器
Whip - Mix、パナホビー、パナデント等

2. 顎運動の基本的概念

ハ）下顎運動限界域

ニ）CO（中心咬合位）とCR（中心位）と

の関係

ホ）下顎運動（ベネット運動）の特徴

- 半調節性咬合器では矢状顎路は生体では曲線であるがそれを直線として表現する。

3. 実際の症例を呈示しての咬合器の使用手順

ヘ）印象採得

ト）模形作製

チ）フェイスボートランスファー

リ）咬合採得

ヌ）チェックバイト、ゴシックアーチ等の採得

ル）咬合器の調整

○矢状顎路角

○イミディエイト・サイドシフト

○プログレッシブサイドシフト

○インサイザルテーブルの調整

（カスタム・アンテリアガイダンス等）

4. まとめとして、現在臨床に使用できる咬合器の中では、機能性、取り扱いやすさ、価格等を考えあわせると半調節性咬合器が適当と思われるが下記に挙げる特徴をよく理解して使用することにより、より良い補綴物の作製が期待できる。

A 容易に顎路角の測定及び再現ができる。

B 顎路を角度等の数量表示ができる。

C 正確な顎路の再現はむずかしく、曲線を直線として表現する。

D 側方運動時の作業側頸路の再現性に乏しい。

つづいて、本田亘社保担当理事より、欠損補綴に関しての社保説明があり、閉会となった。

学術委員 川崎俊明

講演会『医療事故と法医歯科学に関連した事件例』



講師 竹井 哲 司 先生

(日本大学歯学部法医学教授)

期日 平成3年11月19日(火) PM7:30~9:00

現代の医療は単なる疾病の治療にとどまらず、トータルなものに変貌しつつある。その結果、医療分野における社会的要素が深まり、国家、社会の介入度は増大する。

この介入はもっぱら法的手段によって成されることになる。私たちは、これら法律の機能と目的を熟知する必要がある。

一方、歯科医師数の増加と国民皆保険制度の徹底により、歯科医と患者との人間関係が希薄となり、安易に転医する患者が増してきた。その為に、後医によって前医の不手際が明らかにされて、訴訟となるケースも増えている。私たちは過去の医療過誤判例を反省の糧として、紛争を未然に防ぐ努力をしなければならない。

医事紛争を防ぐための一層の努力が必要であるとの講演内容



①医療行為が正当と認められる3つの条件

- 1) 免許の必要性
- 2) 社会的、医学的正当性
- 3) 患者の同意(先進医療では特に重要となる)

②Imformed Consent の考え方と患者の自己決定権

例えば処置については、1つの処置法の説明だけでなく、他の処置法の可能性も説明する必要がある。現在は医師の医療権より患者の決定権が先行している。

- ・転医勧告義務
- ・転送時説明義務
- ・受診勧告義務

③医師の注意義務

危険予見義務、回避義務

医療水準は行為当時の一般的医療水準により判断される。

④医療過誤

医療事故の中で様々な因果関係の事実により医療過誤となる。社会的背景に左右されてきたが、最近は正当と思われる方向に落ち着いている。

⑤医療過誤をめぐる医師に対する制裁

・社会的制裁

(マスコミ等による不当な不利益)

・法的制裁

民事的制裁(損害賠償、慰謝料等)

刑事的制裁(罰金、禁固、懲役)

行政処分(免許取消、業務停止)

⑥医療過誤裁判の動向

⑦歯科医療過誤判例の分析

⑧各地の医事紛争処理委員会での取扱い例

⑨行政処分例中の、特に医療上の業務上過失による処分の内容分析

⑩医事法学的に見た歯科医療の特殊性

以上の事項に関して講演が行われた。

現在までに歯科医療事故の刑事判例は6件に過ぎないが、表面化していない医療紛争は数百例にのぼると見られます。

私たち歯科医は医事紛争を防ぐための一層の努力が必要であると思われます。

医療管理委員 鳥取孝治

《ちょっとBREAK》



パート I

織田信長は

信秀の長男ではなかった

天文20年(1551)3月3日に、信長の父織田信秀が死んだ。そして、家督をそのまま信長が継いでいるため、信長は信秀の長男だったと考えている人が多いようである。しかし、実際には、信長は信秀の三男であった。

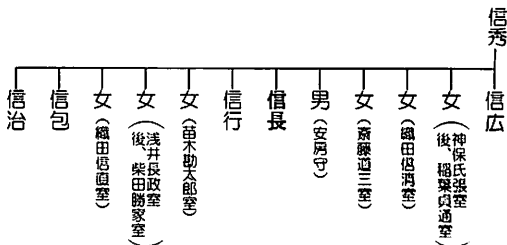
各種の系図によると、信長の上に、信広ともう一人の男子がいた。信広の方は、信秀が奪い

取った三河の安祥城^{あんじょう}をまかされているので、ある程度のことわかるが、もう一人のすぐ上の兄については、安房守^{ずりよう}という受領名をもっていたことがわかるだけで、正確な名乗り、すなわち諱^{いみな}も伝わっていないほどである。

では、三男だったにもかかわらず、また幼少時から「うつけ」とか「たわけ」などといわれ、奇行癖のあった信長が家督を相続するようになったのはなぜなのだろうか。一応考えられる理由としては二つある。一つは、信長の兄の信広と安房守の二人が、ともに信秀の正室土田御前の腹からではなく、側室の腹から生まれたという点である。このころは、まだ母方の血統を重視する時代であった。もう一つの理由は、信秀が、武将としての器量からみて、信広や安房守より信長の将来性を高く評価したことがあげられるのではないと思われる。

事実、信広は、天文18年(1549)の安祥城の戦いで今川義元の軍師太原雪斎らの率いる今川軍のために生け捕られてしまい、武将としての資質に欠けると判断されたものとみられ、安房守にいたっては、これといった事績も伝えられていない。「下剋上」の語に象徴される戦国の世は、長幼の順序よりも家臣団を統轄していける力量、国を保ち拡大していける資質の方が重視されていたのである。

信長略系図



「歴史常識のウソ300」より

委員会だより

口腔衛生委員会

〔1〕熊本市民健康フェスティバル



大会会場での主催者によるテープカット

「からだ、げんき。健康、ありがとう。」をスローガンに熊本市と医師会、歯科医師会が一丸となって健康について取り組む。

平成3年10月19日（土）20日（日）の両日、熊本市立体育館で第9回熊本市民健康フェスティバルが、「からだ、げんき。健康、ありがとう。」をスローガンに開催されました。

このフェスティバルは、中根俊吾熊本市歯科医師会会長、白男川史郎熊本県医師会会長を始めとし、多くの来賓の方々のお出席のもと、田尻靖幹熊本市長の挨拶で開幕しました。主催者、来賓によるテープカットの後、多くの市民の方々が入場され、各種の検査などを無料で行なう「検査、相談コーナー」では、たちまち、長蛇の列となり、健康への関心の高さを裏付ける様でした。

今年も昨年同様、熊本市と医師会、歯科医師会、保健医療専門団体連合会が一丸となって取り組み、多くの団体の後援協力のもと、健康についての楽しい展示と催しが開催されました。

会場では、熊本市医師会による「健康相談」、熊本市薬剤師会による「くすりの相談」、熊本県助産婦会による「妊産婦相談」、県看護協会による「看護相談」、県栄養士会による「栄養相談」、

そして医専連加盟各団体による各種健康相談、検査、指導、フォーラム、パネル展示、市民講座などがあり、開会と同時に多くの市民で連日賑わいました。

熊本市歯科医師会では、口腔衛生委員会が学校歯科委員会の応援を得て、歯科の健康相談コーナーを担当し、「歯科検診」「歯科健康相談」を行い、熊本県歯科衛生士会による「刷牙指導」、熊本市技士会による義歯の展示と説明のコーナーなどが設けられていました。また今年は、歯科検診と平行して、成人歯科保健実態調査も行なわれ、アンケート調査の後、マニュアルに則した方法で歯科検診が行なわれました。この成人歯科保健実態調査は、本県における成人および高齢者の歯科保健の実態を把握し、それにより今後の歯科保健の具体的対策を講ずるうえで基礎資料を得ることを目的とするもので、この主旨を御理解いただいた多くの方々によって調査も高成績を収めることができました。

また同日、青年会館で開催された医専連シンポジウム『60からの青春』の方も、中根会長の

開会の挨拶のあと行なわれた講演に熱心に聴き入る方々で盛況を極めました。

そのほかチャレンジコーナーとして、元気の良い1歳未満の乳児450人による「赤ちゃんハイハイ競争」、歯の健康に自信のある人による、自分の歯でリンゴの皮をむく「ビーバーに挑戦」、「減量コンテスト」「健康クイズ」「健康体操（太極拳）」「ミニバレーボール大会」などがあり、家族皆で楽しく健康の大切さ、ありがたさを再

認識したようです。「熊本市民健康フェスティバル」の2日間は、多くの市民の参加があり、イベント入場者は1万名を越え盛況のうちに無事幕を閉じました。

稿を終えるにあたり、熊本市、熊本県衛生士会、熊本市技工士会ほか関係者の方々の御協力に心より感謝致します。

口腔衛生委員 斉藤忠継

〔2〕熊本市健康教室講座

矢毛石理事と与儀委員が癌とブラッシングについて講演を行う。

熊本市医師会主催の健康教室講座が、昨年で15回目を迎え、平成3年9月4日より11月22日までの十九回の講座によって行なわれました。

齒科の講座は11月7日に行なわれ、口腔衛生委員会より、矢毛石豊と与儀実彦が講演を行いました。

矢毛石先生は久留米大学医学部口腔外科時代のスライドなどを使い、癌の様々の状態を説明し、齒科でも癌が存在すること。また、定期検診による早期発見を強く訴えていました。受講者の方々も癌の生々しいスライドに驚き、齒科にも癌があると言う強いアピールになったと思います。

私は、虫歯の原因、歯槽膿漏の原因について

説明し、ブラッシングの重要性について説明しました。また、その他に、矯正や審美齒科、補綴について説明しました。受講者が老人が多かったので、特にデンチャーについては詳しく説明しました。

受講者数は50名程度でしたが、皆さん熱心で、講演の後の質問では様々の質問がでました。特に近頃ブラッシング指導が強調されているせいか、歯ブラシはどの様なものがよいか、また、電動ブラシは良いのですか、またブラッシング時に歯磨剤はつけなくてもよいのですかなどの質問が多かった様に思います。

口腔衛生委員 与儀実彦

〔1〕第41回「全国学校保健研究大会」

生涯を通じて歯の健康作りをめざす学校歯科保健活動の進め方をテーマにして

先般、11月7、8、9日の日程で「全国学校保健研究大会」に出席して参りました。今回の開催地は奈良県、晩秋の大和路は如何ばかりかとカメラを携えて参りましたが、生憎の雨でした。課題別研究協議会が奈良市内の奈良公園の近くで開催されましたので協議会の後、公園内を散策して参りましたが、鹿に紅葉に秋雨、なかなかの風情でした。

さて本題の「全国学校保健研究大会」の方ですが、「生涯を通じて歯の健康作りをめざす学校歯科保健活動の進め方」がテーマで趣旨としては「学校歯科保健活動を活性化し、歯及び口腔の健康増進を図る校内体制及び学校と家庭・地域との連携の進め方などについて研究協議する」と言う事で行われました。

●山梨県 増穂町立増穂小学校

養護教諭 大木幸子

「学校における歯科保健活動を活性化してゆく為の校内体制の在り方、取組に付いて」

●滋賀県 水口町立水口小学校

教諭 望月幸夫

「幼児児童生徒の歯及び口腔の健康増進の為の家庭や地域との連携について」

●奈良県 大和郡山市立矢田幼稚園

学校歯科医 中川俊男

「歯及び口腔の保健指導と歯科に関する健康相談との連携の在り方、進め方について」

以上3名の先生方の提案、発表がありました。

明海大学歯学部教授中尾俊一先生の「生涯を通じて歯の健康づくりをめざす学校歯科保健活



11月7、8、9日に奈良で開催された研究大会

動の進め方」と題して講演があり、日本学校歯科医会学術委員の今岡久先生の指導助言者の立場からお話がありました。

出席していつも思う事ですが、口腔衛生指導の概念が隅々まで浸透するまでには遠い道のりが必要な気がします。20年、30年以前から比べれば格段の差があるかも知れませんが世の中の流れから観ると取り残されているような感じがします。もっと急ピッチで浸透して行って欲しいものです。学校歯科医の先生方も検診のみに止まらず、もっといろいろなファクターを考え直す時ではないでしょうか。

増穂小学校ではコンピューターを使って資料を作成したり、ハブラシの殺菌保管庫を設置したりで新しいものを導入されて頑張られて要るところも有りました。また、水口小学校では児童のカルシウム摂取とノージュース運動とに合わせて牛乳を多く飲む事を奨励されています。歯と同時に緑を守る運動として牛乳の紙パックを児童に回収させ現在6万枚を回収し、30年生の木、約45本を守った事になると言う事でした。

これは時事に即した良い方法だなと感心して帰ってまいりました。

学校歯科委員 中川順一

〔2〕第34回熊本県学校保健研究協議大会

「健康的なライフスタイルの形成をめざす学校保健」



本渡市民センターで11月29、30日の両日開催された協議大会

第34回熊本県学校保健研究協議大会が、平成3年11月29日（金）30日（土）の2日間の日程で、本渡市民センターを主会場に「健康的なライフスタイルの形成をめざす学校保健」をテーマとして学校保健安全のあり方や、その実践活動の諸問題について研究協議会を行った。

初日は、開会式後、学校保健功労者表彰式があり、学校歯科医師として、中川博公先生、本田徳武先生、関剛一先生が表彰された。

その後、「今、考えたいこと」を演題に、県教育委員会委員長中上幸先生の講話があり、また特別講演として東京大学教授松崎巖先生による「諸外国の学校保健」と題し、スウェーデンの学校保健、性教育等についての講演がありました。

2日目は、分科会別に行い、熊本市立松尾東

小学校教諭、速水のり先生が昭和63年、平成元年の2ヶ年にわたる、学校独自の学校保健委員会の設置や、校区諸団体の組織を生かした地域への啓発を図ってきた成果を発表された。

また、三角町郡浦小学校養護教諭、池田淑子先生が「8020をめざして～一人ひとりの子どもたちのかわりを大切にしたい取り組みを通して～」と題してなかなか治療に行けない児童への働きかけや、自分自身できれいにみがけるみがき方を発見させることの難かしさ等についての発表があった。

その後、県歯科医師会富永英俊理事より、スライドを使いながらのブラッシング指導、毛先みがきなどの説明があり、最後に質疑応答を行い、小規模学校だけでなく、大規模学校での活動の状況についての質問、乳歯の治療に対する質問等々、活発な意見がかわされて、盛況の内に分科会は終わった。

今回初めて出席して、養護の先生の熱心な取り組みをあらためて知らされ、子どもたちの虫歯をなくすためにも、学校、校医、PTA等の連携による働きかけが大切なことを痛感しました。

本年は、熊本市で行なわれる予定です。

学校歯科委員 竹下憲治

〔3〕平成3年度歯みがき巡回指導

平成3年10月23日（水）～25日（金）の3日間にわたり、歯みがき巡回指導が行われました。

永久歯のむし歯発生率は、以前に比べ、確かに下がって来ていますが、歯質及び食生活においては問題点が多く、今まで以上に、歯の磨き方の工夫とその習慣づけが重要となって来ています。

そこで、熊本市内の小学校・幼稚園を対象に、毎年9校ずつ順番に実施しています。

今年も例年同様、熊本市教育委員会、福岡の(株)ライオンの協力によって、下記の日程で行われました。

月日	午前		午後
	9:00～10:00	10:00～11:30	2:00～3:00
10月23日(水)	西里小 380名	北部東小 451名	川上小 604名
10月24日(木)	飽田南小 134名	飽田西小 232名	飽田東小 450名
10月25日(金)		白浜分校 河内小 42+425名	芳野小 148名

今年は、4町合併が行われましたので、この地区を訪問することとなりました。しかしなにごうにも校数に限りがあるため、天明地区は次年度と言うこととなりました。

また、3日目に訪問する予定だった白浜分校では、先の大型台風によって、校舎に被害が出たため、河内小学校において二校合同の実施の運びとなりました。

(株)ライオンの歯科衛生士さんが、身体や頭脳の発達に、歯がどんなに重要かということをサルの人形を使って、児童たちに説明しました。その後、ハブラシのにぎり方とスクラブ法による歯の磨き方を教え、音楽に合わせてハミガキ体操を行いました。

今回訪問した学校は、熊本市に合併したばかりで養護教諭の先生も意欲が非常に感じられました。児童たちも、これを機会に今まで以上に自分の歯に関心をもってもらいたいと思います。



音楽に合わせたのハミガキ体操風景

学校歯科委員 大園正人

〔４〕「熊本市職員及び家族の歯科健康診査」の実施説明会



本事業の説明会に集合した登録医120名の先生

12月10日（火）午後7時30分より、熊本県歯科医師会館3Fにおいて、平成4年1月1日より熊本市で実施される「熊本市職員及び家族の歯科健康診査」の実施説明会が開かれました。

登録医約120名の集まる中、まず中根俊吾熊本市歯科医師会会長より「今回の事業は、平成3年7月1日より実施している“在宅寝たきり者歯科診療”に続くものであり、熊本市民からの歯科医師会に対する期待もますます高くなるものと思われます」と実施要綱の説明があり、続いて、口腔衛生委員会の矢毛石豊理事より具体的に実施方法及び診査項目の解説が行われました。いくつかの診査項目の中で、CPITNという歯周部の状況を診査する項目については、診査

方法が複雑なため、熊本市西保健所の白浜先生より、詳しく説明がされました。このCPITNについては、後日、マニュアルが作られるということです。

最後に、関剛一専務理事より「今回の健康診査は、市職員及びその家族が対象となりますが、今後は熊本市内の企業の保険組合とも話し合いの場を設け、進んで熊本市民の歯の健康維持のために努力していきたい」と述べられ、午後9時に説明会は終了しました。

私達歯科医師は一人一人が、この健康診査の目的をよく考え、少しでも患者さんの為に役立つように実行されることを望みたい。

第3回 三齒会 座談会



三齒会の継続的な開催を希望
諸問題に前向きに対応すると約束



技工士会から退職金制度の確立を希望
衛生士会から働く為の環境作り

● 歯科医師会

医療管理委員会 富田 久之理事
赤城 公德
藤波 好文
広報委員会 寺脇 博理事
永野 忠
奥田 良樹
寺島 美史

● 熊本市技工士会

高橋 昌平会長
錦戸 徳則副会長
佐藤 光徳専務理事
増田 和博広報理事

● 衛生士会

福本 厚子専務理事
江口 早苗広報理事

平成3年10月18日（金）7時30分より、歯科医師会館に於いて、歯科医師会医療管理、広報両委員会熊本市技工士会及び衛生士会から、上記の出席者が集り、定例の三齒会が開かれた。

奥田良樹広報委員の司会のもとに、各会からの要望や意見が出された。

技工士会からは、前回の三齒会からの懸案である退職金制度の確立を特退金や中退金の例をあげ、具体的な数字（勤続30年、2,000万円）を提示し、その導入に強い要望があった。衛生士会からは、熊本衛生士学院や中島学園への入学希望者の減少や、質の低下などが著しく、その解決には、働く為の環境作り、魅力ある職場の実現が必要であり、給与、勤務時間、福利厚生、

診療体型及び内容、スタッフ間のコミュニケーションなど多くの問題点があると指摘された。又、求人表の内容を具体的に正確に表記し就職後のトラブルの回避をお願いしたい。さらに、潜在衛生士の掘り起しなどの活動を行っているとの報告があった。

医療管理委員会では、医院経営や、技工士、衛生士などの諸問題に関する総合的なアンケート調査を計画中であり、その結果を早急に報告する予定である。歯科医師会としても、今後このような三齒会の定例会を継続開催して各会間の意思の疎通をはかり歯科界の発展を願いたいとし、次回開催を約し和やかな雰囲気の中に閉会した。

移動理事会・・・報告

平成3年12月8日（日）、執行部の親睦をかねた移動理事会が行われた。所は杖立、大自然ホテル。前日7日（土）はゴルフ組（7名）が朝早くから赤水でプレイ。太穴の本田理事が優勝（ダブルペリア）。馬も一人占めし皆んなの顰蹙を買った。夕刻、ホテルに全員合流。すばらしきホテル、すばらしき湯そして又すばらしき料理に満喫。宴会では全員カラオケを歌うとの約束のもとで普段聞くことの出来ない菅原常務、伊東理事、岡田理事などの美声？も披露された。翌日8日は朝9時より一室に集り理事会を開催、4年度の寝たきり者訪問歯科推進事業の見直し、政連交付金の配分について、その他多数の協議

題を約一時間半にわたり審議して散会。その後は杖立川で大公望を楽しむもの（6人で収穫一匹もなし）、まっすぐ帰るもの、それぞれ三三五五帰途についた。



杖立温泉郷で開かれた移動理事会

“120名の署名を!!”

これが今私達歯科医が出来る最善最良の方法であります。

追いつめられ、瀬戸際に立たされた歯科医療全般に亘る低迷を打開する為、今行なえる唯一の事は、本年の参院選において「大島」を当選確実にさせることである。

その為の具体的な行動は、講演会名簿を120名分集めること。

期限は2月いっぱい。印鑑なしでもOKです。自分一人ぐらいーという気持ちにはかなぐり捨てて、全員一丸となって頑張り貫こう。

質問事項

- 1) 開業場所
- 2) 家族構成
- 3) 最近感動したり考えること
- 4) 委員会に一言
- 5) 歯科医師会に期待すること
- 6) ストレス解消法
- 7) 1ヵ月間休暇がとれれば何をしますか

医療管理委員会



代診制、救急病院の確立



赤城公德（委員長）

- 1) 熊本市並建町534
昭和51年8月2日開
業（15年）
- 2) 妻 和枝
長男 忠臣（高2）
次男 尚武（中2）
長女 美絵（小6）

タマ（ダックスフンド♂）一匹

- 3) 一年一年足腰が弱っていくのが気がかりです。
- 4) 富田理事の下で代診制度や後方支援病院の確立が出来たことが印象深いです。今後とも会員の先生方のためになる仕事をしたいと思っています。
- 5) 会員増、保険点数の伸びなやみ、従業員確保の問題等といろいろありますが、会員が安心して仕事出来るようになればと思います。
- 6) 気の合う仲間とへたなゴルフをしてゆっく

り楽しい酒を飲むこと。

- 7) ゆっくり休んで明日にそなえたいと思います。

診療報酬の改善を！



藤波好文（副委員長）

- 1) 国道3号線清水バイパス熊本電鉄北熊本駅横（11年目）
- 2) 妻 千鶴子
長女 由香（小6）
次女 明日香（小2）
三女 早弥香（5才）
- 3) 先年舌癌で亡くなったジャーナリスト加藤康一さんの奥さんがある雑誌で、癌発見のおくれの原因として、「口腔定期検診なんてない」と言われたのを見て、なるほどと思ったり、残念と思ったり、歯科医が口腔全体を診察することが一般に知られておらず、複雑な思いだった。
- 4) 経営、税務、労務と自分自身で学ぶことが多いが、厳しい中、院長のリーダーシップやスタッフの勤労意欲の向上ができるように理事のもしっかり任務をつとめたいと思います。
- 5) 当然、医療内容の向上のため診療報酬の改善、スタッフの安定した確保の運動だが、他に種々の会や行政からの通達があるが時に理解ができない内容がある。専門語などは解説がほしい。（頭が悪いから？）
- 6) 土曜の午後に何にも仕事や用事がないこと。
（仕事が終わって一番ホッとする時だから）
- 7) 自然が残るところを旅行したい。

家族と海外旅行をしてみたい！



松本真典

- 1) 熊本市南坪井町3-3
(10年)
- 2) 妻 恵美子
長女 恵理
次女 真理
- 3) 11月に沖縄学会に行き、美しい景色と海の青さに感動しました。今度行く時はぜひ家族と一緒にいきたいです。
- 4) 少しでも会員の皆様のためになるよう努力したいと思います。
- 5) 特に今のところありません。
- 6) ゴルフ、マージャン、読書
- 7) 家族と共に海外旅行に行きたいです。

読書三昧の毎日



坂元和彦

- 1) 熊本市上高橋町440
坂元歯科医院
(12年目)
- 2) 妻 輝代
長女 はづき（高2）
長男 彦太郎（中3）
次女 さやか（小3）
- 4) 二期目の委員会です。一期目に「急病等における代診派遣事業」「救急事故発生時の後方支援病院」
二期目には、「在宅寝たきり者歯科健康事業をスタートさせる事ができました。これらの事業が、より充実していく事が会員自身に役立つものと思っております。
- 6) 読書、ボウリング、ゴルフ、麻雀、乗馬
読書…シドニー・シェルダン著「真夜中は別の顔」（上・下）、「血族」（上・下）、「時間の砂」（上・下）、陳舜臣著「諸葛孔明」（上）、

冬の夜長を読書ザンマイです。

ボウリング…沖縄学会では、団体戦2位、ダブルス戦1位、個人戦3位、総合2位でした。

5) 子供に自信をもって推められる職業になってほしい。このままでは娘の嫁入り道具の1つか……

7) 奥さん孝行で旅行にでも連れていきます。でも、現実には子供の世話でむりですね。

委員会に入り早くも二期目



鳥取孝治

- 1) 熊本市鶴羽町
652-16
鳥取歯科医院 (6年)
- 2) なし
- 3) 北海道の雪
- 4) 医療管理委員会に入

って、早くも二期目となり、自分自身の文才の無さや、発想の貧弱さを感じています。多少は、歯科医師会という組織が理解できつつはあるものの、では自分に何が出来るかという点では、あまりに失望してしまう部分が大きすぎるのが本音です。せっかくみなさんのお役に立ち得る仕事を頂きながら、時間のコントロールがうまくできずに、迷惑をかけてばかりいるので、少しずつ自分を磨き上げ先輩方のように、多彩に用件を片付けてゆけるように、努力したいと思っています。

- 5) 政治的な力を持って、今の点数を2倍くらいに改善してほしい。
- 6) オートバイ、スキューバ、カート、スキー etc
- 7) 放浪の旅

会に若手の声を反映させたい



田中弥興

- 1) 熊本市龍田町上立田
1199-3 (5年)
- 2) 妻 志津子
歯科医師
長男 文英 (9才)
長女 葉津子 (5才)

3) ソビエト崩壊、来年の世界地図が楽しみです。

4) 本年度で、二期目を迎えました。

今期は、委員会の性格も少しは理解でき慣れてまいりましたので、微力ながら、お役に立てたらと思います。

5) 若手の声をもっと反映した会であってほしいと思います。

6) ゴルフで、思いっきりボールをひっぱたく事。だから、スコアが上がりません!?

趣味はゴルフと読書、映画鑑賞 (ほとんどレンタルビデオ) です。

7) 月並みですが、旅行がしたい。

飛行機のライセンスを取りたい



尾上 宏

- 1) 熊本市八分字町3117
(9年目)
- 2) 妻 祐子
長男 宏太朗 (10才)
鮑田東小4年
次男 祐文 (8才)
鮑田東小3年

三男 卓史 敬愛幼稚園年長組

3) 最近身近に感じたこと。

40才の声が私の回りから、ポツポツと出て…。体力の衰えを感じたのは、三男の運動会でこれで最後 (幼稚園での) と思い、綱引きに出て、気分が悪くなり暫く動けなかった事

からでした。八捨九入すると四十になってしまう自分を垣間見た時でした。

- 4) 二期目で何とか委員会の内容が解かりかけたところです。いろんなアンケートを考えたり、カレンダー作りをしたりと楽しくやっています。
- 5) 質の高い医療確立の為にスタッフ確保が楽にできるよう福祉面等で中央に働きかけて欲しい。
- 6) ゴルフ、ドライブ、キャンプ
- 7) この条件に金と高所恐怖症が私になかったらを付け加えるとしたら、外国で飛行機のライセンスを取りたい。この夢はほぼ絶望に近い。

健体康心



沢木孝明

- 1) 熊本市東野1-9-8
(10年目)
- 2) 妻 直子
長女 礼子 (11才)
長男 孝仁 (9才)
次男 心 (5才)
- 3) 不惑の声をきき、この人生を意識して生きたいと思う、今日此頃。
- 4) 富田理事、赤城委員長のもと、他の先輩委員の先生とともに協力し会務が支障なくいく様ががんばりたい。
- 5) 会員の意見を大事にしていく歯科医師会であれ!
- 6) 健体康心・・・トライアスロンのできる鉄人ではないから、複数の武道とスポーツを通じ精神と肉体を鍛練していきたい。それが趣味で自分のストレス解消法。
- 7) ぶらっと旅行でも。

学術委員会



スタッフから誕生日にバラをもらい感激！



添島正和（委員長）

- 1) 熊本市京塚本町7-7
(17年目)
- 2) 妻 恭子 (37才)
専業主婦
長女 絵美 (18才)
熊高2年

次女 愛 (15才) 附中3年

長男 賢一 (13才) 錦ヶ丘中1年

- 3) 10月18日の44歳の誕生日にスタッフからバラの花をもらい感激しました。良いスタッフに恵まれ幸せです。
- 4) 会員のレベルが年々高くなっていますので、講師の選択に頭を痛めます。
- 5) 中根会長が積極的に事業（在宅、代診…等）に取り組まれていますので、会員としてとても心強く思います。
- 6) ゴルフ、スキー、旅行
人に迷惑をかけない程度にわがままに生き、バランス良くがモットーです。（勉強も、遊びも）
- 7) 時間に束縛されないで自由きままに旅をしたい。

体重の増減に一喜一憂



川崎俊明（副委員長）

- 1) 熊本市安政町2-26
(父より引き継いで2年目)
- 2) 妻 三枝
長女 珠央 (4才)
次女 本日誕生しました。まだ無名 (91. 12. 25)

- 3) 先日健康診断の結果が「少々太り気味と認めます。やせる努力をしましょう。」オヤ！

と思い鏡に自分の姿を写してみると、ナントおなかが出てきていた。「どうにかしないといけないなあ」と思っていたら衣替えの季節となり、去年のスラックスのウエストが何とも苦しい。これはいかんと思いトレーニングを開始したところ、最近になって女房の不在（出産の為）も手伝ってか、ウエストにしまりが出てきた。重力に引かれて下っていたお尻や胸も徐々に上がってきて喜んでいたら、今年買ったスラックスがゆるく、ズリおちて困っています。

- 4) 学術委員会に在籍してつくづく感心させられるのは、先生方みなさん勉強熱心な方が多い（当然といえば当然ですが）。最近ダレ気味の自分にカツを入れて頑張っています。
- 5) いろいろ困難な問題はあるでしょうが、そろそろ根本的に現在の歯科診療体系（診療報酬等も含めて）の有り方を考え直していく時ではないでしょうか（他業種と比較した場合の正当な評価等）。これから歯科医になる後輩たちに夢を！
- 6) ゴルフ、年に数度しかやらないラグビー
- 7) どこか高原の別荘でも貸りて、ゆっくりと時間を楽しんでいるとその内、何かやりたい事が浮んでくると思います。

最高の委員会であることを確信



永田省蔵

- 1) 熊本市帯山3丁目
20-16 (6年)
- 2) 妻 静江
長女 希 (小5)
次女 悠 (小1)

- 3) 初めてヨーロッパを廻り、いろんな国の文化、人間性に触れることができ感動的だった。しかしながら富裕である日本の希薄さも感じ

た。

- 4) 今年で二期目です。今期もやさしい理事と物わりのいい（時々気分で動く）委員長とまめな副委員長が揃い、最高の委員会であると確信します。
- 5) スタッフが不足している医院が多いように思いますが、学院の卒業生が全く来てくれないという声をよく耳にします。会費で運営されているからには、できるだけ多くの会員の先生方に均等に幹施していただきたいと思います。これは市ではなく県の歯科医師会への声なんです。
- 6) ふろの中で座禅を組むこと。気持ち良く肉体的、精神的ストレスがとれ、それに足が痛くなくてよい。
- 7) 放浪の旅に出て、ゆっくり、時間に追われることもなく、予定も立てず、めしを食い、町をぶらつき、芸術に触れ……そんな1ヶ月を持てたら最高です。

学術委員会に課せられた責任を感じる



奥村敏之

妻 文美（37才）

母子家庭に日々耐えています

長男 将之（小6）

親と同等に口論しています

次男 浩文（小4）

唯一私の言う事を聞いてくれます

- 3) 最近、中国残留孤児の子女と話す機会を持ちましたが、冬の麦ふみと同様に、たくましく生きていく姿にドラマを感じました。

- 1) 熊本市上林町1-19
広町よりの上通り近く（開業14年目）
- 2) 母 よし子（70才）
老いても子に従がわない元気印の母です

- 4) 学術という言葉に肩苦しさを感ずますが、各スタッフの人間性がでていて、とてももののびとした肩のこらない委員会です。

会に入ってから思った事ですが、当委員会の開催する講演会はどれも盛況で、会員の先生方の前向きな姿勢に圧倒されています。学術委員会に課せられた責任は重く、伊東理事の手腕を発揮できる様に土台固めをしたいと考えています。

- 5) 中央の歯科医師会：開業して14年、期待をもつ気力はなくなりました。

県、市の歯科医師会：共に歩調をそろえて、山積している歯科会の難問を切りぬけてほしい。

- 6) 新たなる趣味を探索中。ストレス解消法は海の波を聞きながら、浜辺で寝そべる事です（夢ですが）。

- 7) 妻と二人でスイスカフランスの小さな村か町を散歩しながら、もしカフェテラスがあったらたわいもない話しをしながら、ゆっくり過ごしたいと思います。

歯科の求人難を痛感



有吉 洋

- 1) 熊本市保田窪本町
895-35（昭和60年6月開業7年目）
- 2) 妻 ひとみ（34才）
長女 加奈（6才）
次女 絵理（4才）

- 3) 市内の某高校（あまり出来の良くない）に受付の求人を出した所、担当の先生に“歯科に就職を希望している人はいませんね〜。”と言われた事にショックを受けました。

- 4) 無理にでも主催する講演会に出ないといけない立場になり、ない時間がよけいになくなったが、たまには人の話しを聞くと、ために

なる事が多いなあと思って、学術委員会にお世話になって良かったと思っています。

- 5) これだけ歯科が多くなると、みんなが良くなるのは無理なので、せめて前向きに努力した者が報われる世にしてほしい。
- 6) ①酒②テニス③CDをボリューム上げて聞く事④ゴルフ(カケに負けるとよけいにストレスがたまる)
- 7) ハワイでのんびり遊びたいです。

久しぶりの鉄棒で首筋を痛める



木村浩幸

- 1) 熊本市水前寺3-9-5
(年数3年)
- 2) 妻 綾子(?)
長女 玲子(7才)
次女 倫子(5才)

3) 先日の日曜日、子供たちと一緒に近くの公園で遊んだ際、鉄棒をやりました。久しぶりにやったせいでしょうか、1回転した後、首の筋を痛めてしまいました。その後4、5日は首を回すのが痛くて、診療もつらく感じたものです。日頃の運動不足を痛感しました。また毎日の健康に感謝!

- 4) 伊東理事をはじめ、添島委員長や他の委員の皆さんの意欲と、積極性との中でいつも学ばせてもらっております。少しでもお手伝いできるよう頑張りたいと思います。スタッフ募集に苦勞しております。
- 5) むつかしいことはよく解りませんが、物価上昇に見合った点数の改正がなされれば、もっと歯科業界が魅力的なものになるのではないかと考えております。
- 6) とにかく、のんびりと過ごすこと。
- 7) 国内外を問わず旅行に行きたい。

声紋による咬合採得



菊川明彦

- 1) 熊本市楠4丁目
(2年半)
- 2) 妻 貴美子
長男 浩平(4ヶ月)
- 3) 最近声紋による咬合
高径、人工歯配列の決定

というのがあるらしい。そのうち若い頃の写真だけでなくテープを持ってきてという時代がくるかもと軽く考えていたら、先日JAFメイトの特集で未来の鍵として声による開錠というのが出ていました。これによるとただ本人がしゃべるだけではダメで、登録時と同じ条件でなくてはならないらしい。とすると抜歯や補綴物のやり直しで微妙に声紋が変わってしまったら、「開けゴマ!」と叫べども叫べども・・・。

- 4) 宜しくお願いします。
- 5) 歯科開業医として誇りのもてる夢をもてる体制づくり社会環境づくり。
- 6) ヘタですがたまにやるゴルフ、お酒、スポーツ、マッサージ
- 7) 海外旅行

自分の診療室にも世界の波



松永 久

- 1) 出水1-1-10(1年)
- 2) 未だ独身
- 3) 先日友人の結婚式があり横浜へ行った際、ヨーロッパ、アメリカ、そして東南アジア系と思わ

れる、あまりにも多くの外国人を見かけ驚きました。私たちも将来は、これら文化、価値観の違う人達と接する機会が更に増え、難しい問題が出てくるのではないかと思います。

そういえば先日、私の診療室にも中国人の患者さんが見えました。

- 4) 学術委員の素晴らしい先生方と知り合いになれ喜んでいます。若輩者ですが微力ながらお役に立てばと思います。
- 5) 私が診療をしている上で、話せば分かる患者さんが多いように感じられます。歯科医師会の力を持って広く世間に口腔衛生管理を啓蒙出来れば、ひいては患者の掘り起こしになるのではないかと思います。
- 6) 昨年よりスキューバダイビングを始めました。スキー歴は約10年。気の置けない仲間との酒を酌み交わしながらの談笑。
- 7) 激動の旧ソ連、中国、カリブ海、行きたい所が沢山あります。

《ちょっとBREAK》



パートⅡ

◆電化製品の寿命は何年か

日本は、電化製品のモデルチェンジが世界でいちばん激しい国だという。最近では、買って3か月もすると、より性能がよく値段の安い新製品がでまわる始末。こわれるまで電化製品をつかうという人は、めったにみかけなくなってしまう。

それはともかく、電化製品にも平均寿命がある。「10年」が1つの目安だ。家電メーカーは製品を開発するとき、これを1つの目標とする。

たとえば、洗濯機、電子レンジ、電気炊飯器、電気ストーブ、クーラー、電気掃除機などの寿命は軒並み10年。

これらの商品はだいたい5～8年で買い換えられるが、ちょっと古くさいことを我慢すれば、しっかり10年つかえるのである。

このほかでは、テレビはちょっとした優等生で12年ぐらい。しかし、次々と新製品がでるためか、実際には4.4年ぐらいしかつかわれていない。いちばん長生きなのは、扇風機で20年はつかえる。つづいて冷蔵庫、電気コタツは15年は使用可能だ。短命なのは、電気毛布で5年ぐらい。冬しかつかわないんだが……。

◆コンタクトレンズにも寿命がある

かたちあるもの、みな寿命があるといわれるが、コンタクトレンズにも、やはり寿命がある。

一般に、ハードで3年、ソフトで2年というのがその平均寿命だが、これは、涙の成分によってレンズに曇りが生じるため。もっとも、涙の成分は、人によってちがうから、いちがいにはいえない。

また、使い方によっても、10年くらいはもつ人もいる。

ちなみに、メガネの寿命は、平均すると3年といったところ。コンタクトレンズやメガネの世話になっている人の出費は、あんがいばかにならない。目のいい人は、親に感謝したほうがいい？

「時間の不思議」より

スタディーグループを追って

【4】 KDRG (熊本デンタルリサーチグループ)



大阪のスタディーグループの精神を受け継いだKDRG

(1) 発足年月日 1980年

(2) 発足の経緯

会長である浜坂浩が学生時代、大学のカリキュラムに物足りなさを感じて入会した臨床医のグループ(大阪デンタルリサーチグループ)の名を熊本に変えて熊本デンタルリサーチグループ(KARG)と命名した。

前のおおさかのグループで、聖職者の使命と歯科医師は歯の治療だけをするものではなく、口腔全体ひいてはその人の人格も考慮して地域社会への影響する使命と力を持っている。その為に常に歯科医術の向上に務めなければならないという教えを受け、自分の進むべき道を確信したものです。

(3) 会の運営、体制

・会を開催している回数 月2回

・会長あるいは議長

会 長 浜坂 浩

副会長 渡辺 研

副会長 何 俊二郎

幹 事 緒方 講治

会 計 村上 辰郎

記 録 恵福 和志

学 術 吉村通十武

(4) 自分達の会の特徴

P.M.S. (Pankey, Mann, Schuyler) テクニックと聖職者としての心構えを中心に、患者さんの為の治療を目指して研鑽しております。

(5) 最近1年間の勉強、講義内容

平成3年度KDRG年間行事

1月12日(土)7:00~ 新年会 於 清瀨

21日(月)ケース・プレ Dr. 渡辺

RETを応用したエンドドンティックスについて

2月4日(月)症例研究会 Dr. 浜坂

多数歯欠損に Bone-fit インプラントを使用して補綴した症例について

25日(月)ケース・プレ Dr. 緒方
 ペリオにおける薬物療法について、
 小児のMTMについて

3月11日(月)症例研究会 Dr. 浜坂
 ペリオⅠ型とMTMの症例について

25日(月)ケース・プレ Dr. 村上
 外科小手術とその後のMTMについて

4月8日(月)症例研究会 Dr. 浜坂
 ペリオⅠ型にBone-fitインプラント
 を使用した症例

27日(月)ケース・プレ Dr. 恵福
 RETとマックスパッデン法を併用
 したエンドについて

5月13日(月)症例研究会 Dr. 浜坂
 全顎的な咬合改善を長期に渡って行
 った症例

19日(日)スタッフセミナー 於 中島 学園
 シャーピングとルートプレーニン
 グについて
 講師 浜坂歯科医院スタッフ

27日(月)ケース・プレ Dr. 古閑
 ペリオと擦れ違い咬合とを伴った難
 症例について

6月10日(月)症例研究会 Dr. 浜坂
 かなり進行したペリオと多数歯欠損
 を伴った症例について

7月15日(月)ケース・プレ Dr. 吉村
 パイロットデンチャーを用いた総義
 歯の臨床について

29日(月)ケース・プレ Dr. 高松
 歯牙の漂白について
 RETによるエンドについて

8月 休会

9月9日(月)症例研究会 Dr. 渡辺
 MTMを伴ったペリオⅠ型の難症例
 について

30日(月)症例研究会 Dr. 浜坂
 進行したペリオにマルチブラケット
 を使用して矯正を行った症例につい
 て

10月19・20日 研修旅行

28日(月)症例研究会 Dr. 緒方
 かなり進行したペリオと多数歯欠損
 を伴った難症例について

11月11日(月)ケース・プレ Dr. 浜坂
 多数歯欠損に擦れ違い咬合とを伴っ
 た難症例について

25日(月)症例研究会 Dr. 村上
 小児のMTMの症例

30日(土)忘年会

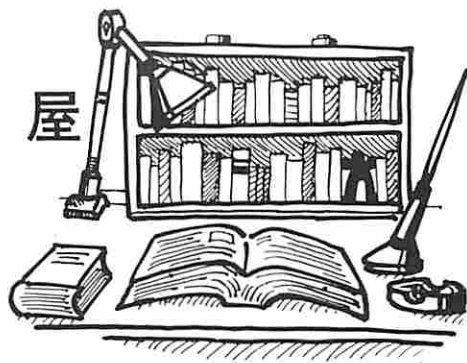
12月16日(月)総会

(6) 会員の名簿

浜坂 浩
 渡辺 研
 何 俊二郎
 緒方 講治
 村上 辰郎
 恵福 和志
 吉村通十武
 古閑 康義
 高松 尚史



勉強部屋



クラウン・ブリッジにおけるレジン個歯トレー印象法

学術委員 菊川明彦

メタルボンドポーセレンクラウンの印象、また全部鋳造冠によるブリッジでも下顎最後臼歯に舌が重なり舌側の印象がとりにくそうな場合レジン個歯トレーによる印象法を用いている。

〈個歯トレー印象法の二つの欠点〉

個歯トレー印象法が知られている割には実際に実施される頻度が少ないのはいくつかの欠点があるからと考えられる。一つには手間がかかり時間がかかりすぎる。一つはラバーなど印象材にコストがかかること。

前者を形成状態、歯肉管理状況、操作の熟練度などによってある程度までは克服される相対的欠点とすると、後者は誰がどのような条件でやっても同じ、絶対的欠点であるといえるのではないか。ではその絶対的欠点が具体的にどの程度のマイナスであるのか試算してみた。

個歯トレー印象によく使用されるポリサルファイドラバー印象材 GC・SurflexF 倍量入 1 本より大体（出し方にもよるが）150cm 程度出る模様。IN 式上顎用 3 号トレーにユーティリティワックスでボクシングをして（写真 1）失敗なく使用するのに大体 25cm 程度必要な模様。SurflexF 倍量入 1 セット ¥6,590 から考えてトレーの大小はあるものの 1 回の印象に大体 ¥1,000 程度かかるものと考えられる。もちろん個人ト

レーを使用した場合印象材の使用量は少なく済むし、印象の変形も少ないだろうがオストロンの材料費、製作の手間を考えると結局同程度のコストになるものと考えられる。

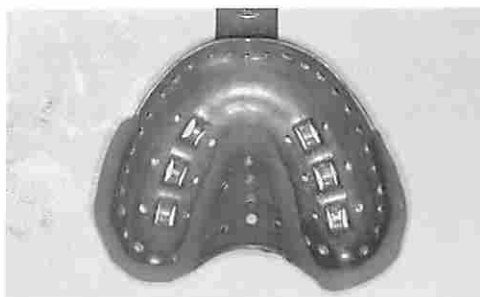


写真 1

一方、歯肉圧排をして寒天アルジネート印象した場合のコストはどの程度か。アルジネート印象材を GC・AromaFineDF II とした場合 IN 式上顎用 3 号トレーに専用カップ 2 杯程度必要。カップ 1 杯 8.4g であることより 1kg 袋より計算上 119 杯とれることになる。1kg 袋単価 ¥4,030 より 1 杯あたり ¥33.9。カップ 2 杯で ¥68。圧排系、寒天を考えても結局、寒天アルジネート印象では 1 回あたり ¥100 程度と考えられる。（圧排系 1cm 10円見当。寒天 1 本 100円見当。）

〈コストを安くする個歯トレー・ラバーアルジネート連合印象法〉

個歯トレー・ラバー印象で ¥1,000、寒天アルジネートで ¥100。コストの差は明らかであるが、

個歯トレー印象法の利点を生かしながら可能な限りそのコストギャップを埋めていく方法として個歯トレー・ラバー・アルジネート連合印象を行っている。この方法で単冠一本であればラバーの使用量は5cmあればまず大丈夫。ラバーの使用量は4分の1から5分の1で済む。

厳密に言えばラバーとアルジネートの硬化時間のズレから印象材に若干のひずみが生じているのだろうが、臨床的に問題になる程ではないと思われる。ラバーとアルジネートの接合部も移行的にうまくいくようである。石膏模型上でも境界部はまったく気付かれない。

復元度、ひずみの問題からいってもラバーの優位性はゆずれないだろうが、冠製作部ならばまだしも、バイトに関与する部分では対合をアルジネートでとる限りラバーでとろうがアルジネートでとろうが大差はないであろう。

〈個歯トレー印象の実際〉

以下に個歯トレー印象上のポイントを述べる。

写真
2



まず個歯トレー（写真2）の製作であるが、天井の円盤部分は個歯トレー調査の際のつまみ（取っ手）になり、印象採得時には本体の球状突起部とともにひっかかりになり印象材からののがれを防ぐ。円盤部分はガラス練板上に即重レジンを丸くのばせば簡単にできる。本体との結合部、くびれの部分はともすればとめるだけになってしまいがちだがここが弱いと調整中に

とれたり、印象時にとれたりの原因になりやすいので太めにしっかり作ってもらう。またこのくびれの部分が長すぎると個歯トレーの全長が長くなりすぎ、既成トレーがはまりきらなくなることがある。

個歯トレー内面部分は適合がきつすぎると調整終了後、内面を削る際簡単に穴があいてしまうので、余裕をもってつくってもらう。個歯トレーにわざと穴をあけ、印象時内圧を逃がす方法もあるらしいがここではふれない。

個歯トレー調整の段階では TEK 調整と基本的には同じである。小綿球でワセリンをとり火炎に一瞬とおす。液状で流れがよくなったワセリンを形成面に一層塗り微妙な凹凸を埋める。新たに乾いた綿球をとり、余剰のワセリンをふきとる。

個歯トレー内面に即重レジンを満たす。レジン表面につやがなくなるまで待ち、つやがなくなったらやややすめのレジンをマージン部におくり込む。筆で置くだけの感じではなく積極的に毛先でなぞり、送り込む意識で行う。このあたりの操作は GC 共用小筆 No 4 が使いやすいと思う。

個歯トレーを押付け、大きくはみ出した部分のレジンは固まる前に探針でできるだけ取っておいの方が楽であるがマージンで固まりかけているレジンを傷つけないようにしなければならない。

マージンがはっきりでてくればトリミングであるが、TEK のマージンが長すぎても短すぎても歯肉の退縮をきたすのでジャストでなければならない様に、個歯トレーのマージンも短すぎではマージンがなめられたようになってはっきりでなくなり、長すぎでは印象はうまくでも形成ライン以下のアンダーカットにレジンが入り込むことがあり、模型を印象からはずす段になって破損の危険性が高まる。ショルダー部分

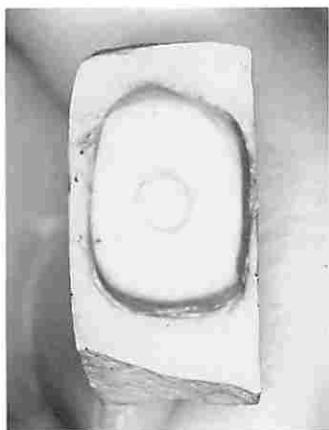
はもちろん隣接部、舌面も可能な限り形成ラインにジャストに調整されるべきである。

何本か連続して印象する場合個歯トレーどうしがあたっていないか一度入れてみる。その上から既成トレーがちゃんとおさまるかどうか確認する。この時にトレーの穴から個歯トレーの位置を確認しラバーを盛る位置に印をつけておく。

個歯トレーの調整が終われば内面の削合を行う。これが十分に行われていなければ歯列からも模型からも印象がはずれにくくなる。特に下顎前歯部のように細くて長い支台歯の場合個歯トレーがきついと技工士泣かせとなる。ショルダー部はあまり削りすぎないで半分ぐらい残しておく。

多数歯にわたる印象の場合は個歯トレー用のラバーを別に練る。1本だけの印象の場合、前にも述べた様にラバーは5cmあればまずすべてがまかなえる。本数に合わせて適宜増量する。

写真3



ラバーとアルジネートが用意できたら同時に練り始める。術者は個歯トレーに接着材としてレジン塗る。ゆるめのレジン泥で2～3mmの大きさに筆でとり必ず外側から塗り始める。内側から塗り始めると個歯トレーのスペースにレジンが入り込みすぎて適合がきつくなり印象を模型からはずす時ははずしくなる。内側の余剰のレジンを除くためエアーで吹き飛ばす場合

もある。

ラバーが練れたら個歯トレー内面に気泡を入れないよう内壁に沿わせる様に入れる。写真3のように保持孔を掘ってある場合は、個歯トレー内面の凸部は削ってしまい、支台の凹部にシリンジでラバーを流し込むか、小エキスカでラバーを取り凹部に一層なじむようにならすだけで結構ちゃんと印象はとれる。

術者は浮き上がりのないよう支台歯に個歯トレーを押付け、個歯トレー外面にレジン泥を接着材として塗る。Brの場合、ダミー部に気泡が入ると困るので、個歯トレー外側にレジン泥塗布後、小スパチュラに少量ラバーを取り、個歯トレー間のダミー部に塗り付け上から綿球で少し押さえ付ける。

既成トレーにはまずラバーを、あらかじめ印を付けておいたところに盛り付け、その残りの部分にアルジネートを盛り口腔内に挿入する。硬化時間はラバーに合わせる。

写真4



写真5

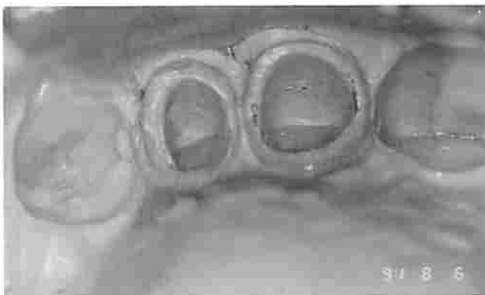


写真4、5は1、2支台の印象ははずしたところである。アルジネートとラバーの移行部も特に問題になるようなところはない。写真6は作業模型である。アルジネートとラバーの移行部

もまったく気付かれない。写真7は出来上がったメタルボンドを仮着した直後である。



写真6



写真7



写真8



写真9

写真8は③-1|TEKにて根治中である。術前の写真がないので残念であるが③-1|にも術前には①-3と同様な具合でメタルボンドが入っていた。写真9は③2①1-3修復終了後である。これ以上大きくなるとあえてアルジネート連合にするメリットも少なくなる上、むしろ万が一失敗した時の再調整の個歯トレーの数を

考えるとラバー単一で印象したほうがよさそうである。

ラバーとアルジネートの連合印象で奇異な感じを受ける方もあらうと思いますが、絶対とれると信じてやればまず失敗はないと思います。

(担当技工士 笠原 雅)

《ちょっとBREAK》

パートIII

◆魚たちの寿命あれこれ

魚も当然、水のなかで自分の時間をすごしている。彼らにも、年齢があり、寿命があるわけだ。さて、それをどうやって調べるかというと、意外にかんたん。木の年齢が年輪からわかるように、魚の場合もウロコに現れる年輪のような縞模様をみればいいのである。

また、魚の耳にあたる部分には「耳石」とよばれるものがあり、ここにも年齢を示す成長線が刻まれている。ただしこれらは肉眼で数えるには難しく、顕微鏡をもちいなければならない。

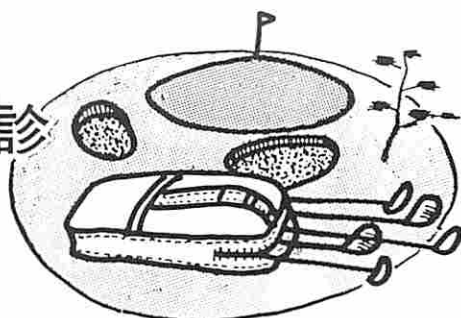
ところで、一般的な魚のなかで長寿の代表格はというと、まずはウナギだろう。寿命は60歳ぐらいといわれ、われわれ人間に精力をつけさせてくれるのにふさわしく、ギンギンの絶倫魚なのである。

ついでコイ。多くは40～50歳まで生きる。岐阜県には290歳をこえるものがあるとの報告もある。これらにつづくのはヒラメの30歳、ドジョウの20歳あたり。ブリやニシンの10歳、サケは意外に短命で4～5歳である。

今後、食卓に魚があがるごとに、その寿命を考えてみると、味わい方がちがってくるかも。

「時間の不思議」より

本日休診



「熊本市民友好の翼に参加」

サンアントニオ市テキサス大サンアントニオ校歯学部を訪ねて

伊 東 隆 利

〈歯科医師として友好使節団に参加〉

熊本市民友好の翼実行委員会（田尻熊本市長が委員長、中根俊吾熊本市歯科医師会長も委員会のメンバーの1人）で、それまで懸案となっていたサンアントニオ市への友好使節団の派遣が、4町合併の記念事業の1つとして決定された。9月1日から募集で11月10日に出発というあわただしい準備期間のためか、歯科医師としては私1人の寂しい旅となってしまった。

医師会から蓮田晶一御夫妻、水谷茂第一工業高等学校長、造園業から浜成光氏、それに建築関係の方が2～3人、市役所からは中村総務局長、橋本和朋衛生部長はじめ10人の職員の参加があり、総勢53名のツアーとなった。

〈25時間かかって目的地に到着〉

11月10日、御厨助役、吉田公室長の励ましと見送りを受け、いざ出発、途中名古屋で出国管理事務を済ませ、成田ーシカゴーダラスーサンアントニオと延々25時間かかって到着。

空港にはサンアントニオ市の国際交流室、および日米協会の方々の暖かい出迎えて、疲れはいっぺんにふっとび、友好姉妹都市の実感を噛みしめることができた。



サンアントニオ空港での出迎え

〈すばらしい運河での舟遊び〉

その後は旅装をとく間もなく、サンアントニオの観光の目玉、リバーウォーク。私は最初意味がわからないままであったが、市内の目抜き通り、繁華街には運河（＝水路）が張りめぐらされていて、そこを箱型のモーターボートで舟遊びするというごく単純なことであった。ベニスや日本の柳川水郷を思い浮かべたが、そこはアメリカらしく清潔で機械化されて自然の美しさというより人工的な統一されたすばらしさが印象的であった。時間があれば舟よりもむしろ散策しながら、疲れたらあっちこっちのしゃれたレストラン、コーヒーショップでお茶でも飲みながらマリアッチを聞くようなのんびりしたタイムがあればと思った。夜は日米協会主催のパーティー。留学生の他に、サンアントニオ

市には空軍、陸軍の大きな基地があるとのこと
で、留学生の他に軍人の奥さんになった方が多
く集まられて昔の日本語に花が咲いた。

翌日（12日）、翌々日（13日）は各界の交流、
もしくはサンアントニオ市の観光に充てられて
いた。

〈Storey・Rugh 先生への訪問〉

私は、2日間ともテキサス大歯学部を訪問す
るべく、Storey 先生、Rugh 先生と連絡ずみで
あったので、この2日間は自由行動をとらせて
いただくことになった。

Storey 先生、Rugh 先生は御記憶の人も多い
と思いますが、1990年6月来日されたのを機会
に熊本にお呼びし、熊本市および熊本市歯科医
師会で友好交流を企画し、歯科医師レベルでの
両市の交流のきっかけとなった先生方です。



ストーリー教授室にて
本会からの感謝状が飾ってある

Storey 先生は矯正の主任教授、Rugh 先生は
その下の研究担当教授で（1990年当時は口腔外
科の研究担当教授）、お二人ともすごい親日家、
Storey 教授にいたっては日本に関する本を100冊
近く持っているとのこと、自宅に「つくばい」
を作ることが目標だとのことであった。教授室
の壁には熊本市歯科医師会主催の講演会でお渡
した感謝状がデーンと飾ってあり、熊本市長公
室での田尻市長とのフォーマルな交流も強い印
象として残っておられるようであった。英語が

ダメな私のためにたくさんの日本からの留学生
のお世話を受けることになった。

今回直接お世話いただいたのは、佐藤強志先
生（鹿大歯、歯科放射線助教授）で、他に米田
俊之先生（元大阪大歯、口外講師、現テキサス
大医、助教授）、西原丞二先生（大阪大歯、歯周
病）、そして私の目的とした顎顔面口腔外科には
なんと、三枝真人先生（東京都出身でアメリカ
のハイスクールを出てアラバマ大歯学部卒）が
レジデントの1年生でおられ、教授の Van Sickles
先生ともスムーズに話ができた。



ルー教授研究室前にて
いつも朗らかで親日家の先生

お土産に持っていった日本人形を肴に、夜は
Rugh 教授の御自宅でディナーパーティー、パー
ティーの前に Van Sickles 教授より、「骨片固
定に関する金属プレートの応用」についての講
義を受け、パーティー後はこちらで用意してい
た熊本のスライドを披露して国際親善の一夜を
過ごした。

〈サンアントニオ市との深い交流〉

翌日はサンアントニオ市歯科医師会長のマグ
ワイヤー先生にお会いし、中根俊吾会長からの
メッセージをお渡ししました。早速、会報にそ
のメッセージと交流があった旨、会員に速報す
ることとなった。

あとで判ったことでしたが、ソーンストン先
生という口腔外科の先生が、サンアントニオ市

の商工会議所の会頭をつとめておられ、熊本市との商工会議所同士の友好締結に1990年に来熊されているとのことであつた。そうしたことが事前に判っておればと惜しまれたことであつた。

他の業界の方々もそれぞれにサンアントニオ各界との交流を深められ、実り多いサンアントニオ滞在だったようです。熊本市役所の国際交流室、秘書室の方々に大変な事前準備、およびサンアントニオ市でお世話いただきましたことを誌面をお借りして御礼申し上げます。

そのあとワシントン—ニューヨークコースと、ロスアンゼルス—サンフランシスココースのグループに分かれ、18日に成田で合流した。夜遅くにもかかわらず、市役所には田尻市長が出迎えられ、9日間にわたる友好の旅が無事に終わりました。

今後、ますます国際交流がさかんになるものと思われまふ。テキサス大学サンアントニオ校歯学部には Storey 先生、Rugh 先生という親日家がおられ、交流も深まるでしょう。

次の機会には、是非会員の先生方も参加されるようお願い申し上げます。

→
中根俊吾会長の手紙と友好の翼の交流がサンアントニオ市歯科医師会ニュースレター1992年1月号に紹介されている。

Wings of Friendship

On November 14th, I had the pleasure of meeting with Dr. Takatoshi Ito, an Oral Surgeon from our sister city of Kumamoto City, Japan. Dr. Itoh was a member of a delegation of approximately fifty business and professional leaders from Kumamoto City that was visiting San Antonio as part of the expanding exchange between the two cities. Dr. Itoh was an extremely pleasant emissary and carried with him a letter of greetings from Dr. Shungo Nakane, the President of the Kumamoto City Dental Society. The text of his letter is printed below. I have written letters of thanks to both Dr. Ito and Dr. Nakane, and have expressed our Societies interest in fostering the kind of dialogue that would be rewarding for us all.

Dear Mr. President:

I am presenting a message from our Dental Society through Dr. Takatoshi Ito, our board member in charge of Academic Affairs, who is participating in our city's Wings of Friendship delegation to San Antonio.

I would like to take this opportunity to send our greetings and pay our respects to the President of San Antonio Dental Society.

As you already know, Kumamoto City established Sister City Affiliations with San Antonio in 1987, and a variety of exchange programs enjoying strong support have been carried out between the two cities.

When Dr. Storey and Dr. Rugh from the University of Texas, San Antonio came to Japan last June, the Kumamoto Dental Society invited them to Kumamoto City where we were fortunate to be their hosts at a lecture and a reception.

I am sure that there are differences in the dental health or dental medicine practices between our cities, yet I believe both of our dental societies share a common goal concerning the health of those we serve.

I sincerely wish to develop our friendship further through exchanges of information and mutual study programs at every possible opportunity.

I wish your society all the best.

Sincerely Yours,

Shungo Nakane
President
Kumamoto City Dental Society

新 入 会 員 紹 介



1. 氏 名 板 井 秀 朗

2. 住 所

(自 宅) 玉名市伊倉南方1227 TEL 09687-2-3484

(診療所) 熊本市大江1丁目10-40 TEL 096-366-2356

3. 生年月日 昭和39年10月14日

4. 趣 味 音楽、アウトドアスポーツ

5. 好きな言葉 「鬼手仏心」

6. 経 歴 昭和58年3月 私立真和高校卒業

昭和58年4月 福岡歯科大学入学

平成元年3月 福岡歯科大学卒業

平成元年4月 福岡歯科大学歯科保存学第二講座入局

平成3年6月 同教室退局

平成3年11月 秀歯科医院開院

7. 家族構成 父、母、兄

----- *



1. 氏 名 尾 崎 元 則

2. 住 所

(自 宅) 熊本市小沢町19番地の1 TEL 096-351-5542

(診療所) 熊本市江越1丁目2-1 TEL 096-379-6480

3. 生年月日 昭和26年9月25日

4. 趣 味 体を動かしているときが一番楽しい。現在腰痛など体にトラブルが起きてきつつあるので、フィットネスクラブか何かで体を鍛えたいと思っている。

5. 好きな言葉 「和」(なごやか)

6. 経 歴 昭和52年 九州歯科大学卒業

昭和53年 九州歯科大学歯科補綴学第二講座入局

昭和62年 日比谷国際ビル友愛歯科勤務(東京都)

平成2年 川野歯科勤務(北九州市)

平成3年 山下ひさや歯科勤務(福岡県那珂川町)

平成3年 平成歯科クリニック開院

7. 家族構成



1. 氏 名 小 島 博 文

2. 住 所

(自 宅) 熊本市健軍町1855-4パレーシャル帯山A201

T E L 096-385-2239

(診療所) 熊本市武蔵ヶ丘1-278-14

T E L 096-337-3640

3. 生年月日 昭和31年10月15日

4. 趣 味 音楽、スポーツ全般

5. 好きな言葉 「渡る世間に鬼はなし」

6. 経 歴 昭和62年 3 月 鹿児島大学歯学部卒業
昭和62年 4 月 鹿児島大学歯学部第二補綴科入局
平成 2 年 3 月 同教室退局
平成 2 年 4 月 小峰歯科(熊本市)勤務
平成 3 年 1 月 同上退職
平成 3 年 3 月 原口歯科(益城町)勤務
平成 3 年10月 同上退職
平成 3 年11月 こじま歯科医院開院

7. 家族構成 妻 : 真由美
長女 : 沙織
次女 : 未来



1. 氏 名 坂 口 貴 章

2. 住 所

(自 宅) 熊本市健軍町2305-63オークヒル本田206号

T E L 096-383-8113

(診療所) 熊本市健軍町2305-63オークヒル本田1F T E L 096-383-8112

3. 生年月日 昭和37年 7 月25日

4. 趣 味 テニス、ゴルフ

5. 好きな言葉 「誠実」

6. 経 歴 昭和56年 3 月 熊本高校卒業
昭和56年 4 月 長崎大学歯学部入学
昭和62年 3 月 長崎大学歯学部卒業
昭和62年 6 月 林田歯科勤務(長崎市)
平成 2 年 5 月 同上退職
平成 2 年 6 月 一ノ瀬歯科勤務(熊本市)
平成 3 年 4 月 同上退職
平成 3 年 坂口歯科クリニック開院

7. 家族構成 妻 : 加奈子



1. 氏 名 谷 口 守 昭
2. 住 所
(自 宅) 熊本市清水本町30-2 TEL096-346-0800
(診療所) 同上 TEL096-346-0801
3. 生年月日 昭和28年3月20日
4. 趣 味 旅行、ドライブ、音楽鑑賞
5. 好きな言葉 「貫徹」

6. 経 歴 昭和47年 東京理科大学工学部機械工学科入学
昭和51年 同学部卒業
昭和54年 九州歯科大学入学
昭和60年 同卒業
昭和60年 久々山歯科勤務(本渡市)
昭和63年 同上退職
平成3年 谷口歯科医院開院

7. 家族構成 妻：昌子



1. 氏 名 弘 中 一 郎
2. 住 所
(自 宅) 熊本市帯山4丁目23番7号 TEL096-383-4411
(診療所) 熊本市近見町1092-3 TEL096-325-8844
3. 生年月日 昭和37年12月24日
4. 趣 味 ボウリング、卓球
5. 好きな言葉 「堅実」

6. 経 歴 昭和56年3月 熊本高校卒業
昭和56年4月 九州歯科大学入学
平成元年3月 九州歯科大学卒業
平成元年4月 佐久間歯科勤務(茨城)
平成2年12月 同上退職
平成3年1月 玉置歯科勤務(下関市)
平成3年4月 同上退職
平成3年9月 弘中歯科医院開院

7. 家族構成 妻：美貴子(九州歯科大学36期卒業)

会 務 報 告

理 事 会

月 日	協 議 題
10月15日	第39回理事会（総務、庶務、会計、委員会報告、協議）
11月22日	第40回理事会（同 上）
1 月22日	第41回理事会（同 上）

社 保 委 員 会

月 日	協 議 題
11月 6 日	保険点数みなおしについての検討 日本歯科医師会疑義解釈通知集について 有床義歯 6 ヶ月規制ポスター（窓口掲載内容）について 指要項について
12月11日	有床義歯 6 ヶ月規制ポスターについて 大島選挙票集めについて 来年度予算案について
1 月10日	各症例についての検討 ビデオ研修会の社保説明会について

厚 生 委 員 会

月 日	協 議 題
10月11日	バレーボール大会検討
11月15日	バレーボール大会に対するアンケート調査について
12月11日	新年懇親パーティーの打合せについて
1 月 8 日	新年懇親パーティーについて
1 月13日	新年懇親パーティーの席次表作製 式次第の打ち合わせ

学 校 歯 科 委 員 会

月 日	協 議 題
11月21日	熊本県学校保険研究協議大会の件について
12月 6 日	熊本市職員及び家族の歯科検診について 12月10日（火）の説明会について

口 腔 衛 生 委 員 会

月 日	協 議 題
10月 9 日	「熊本市職員及び家族の検診」について
10月16日	健康フェスティバルの打合せ フッ素塗布（12月）について
11月19日	幼稚園フッ素塗布計画案

医療管理委員会

月 日	協 議 題
10月 9 日	休日夜間診療に対するアンケート調査について 講演会「医療事故と法医歯科医学に関連した事件例」（竹井哲司教授）について 打合せ
	三歯会について打合せ
	救急蘇生法実習について打合せ
11月13日	11月19日講演会打合せ 11月26日～27日救急蘇生法実習打合せ
	平成4年税務カレンダー打合せ
12月12日	平成4年税務カレンダー打合せ
	医療廃棄物処理について検討
12月20日	医療廃棄物処理4業者と打合せ

広 報 委 員 会

月 日	協 議 題
10月18日	三歯会開催
10月25日	中岳75号第1回校正 かわら版11月号編集
11月 1 日	かわら版11月号校正 中岳75号第2回校正
11月12日	中岳75号第3回校正 中岳76号目次作成
	かわら版11月号反省
11月26日	かわら版12月号編集 中岳76号目次作成
12月 3 日	かわら版12月号校正
12月 9 日	中岳75号反省 中岳76号準備
	かわら版1月号編集
12月25日	かわら版1月号編集 中岳76号編集 中岳（新年度）新企画検討 次年度予算案、事業計画作成
1月 7 日	中岳76号編集
	かわら版1月号校正
1月24日	中岳76号第1回校正

学 術 委 員 会

月 日	協 議 題
10月16日	第7回ビデオ研修会について 学術講演会について 救急蘇生講習会について
1月20日	第8回ビデオ研修会について 学術講演会について 委員会内担当者決定



先日、養護学校と普通学校の合同合唱発表会を観る機会がありました。そこで新鮮に感じられたものは、養護学校の生徒のひたむきさよりも健常児たちの限らない能力と規律ある協調性の素晴らしさでした。

新鮮さと能力の無限さは、一般の人々には当然のこととして見逃しているのではないのでしょうか。私たちは日常生活の中で見慣れている事でも考え方、見方を変えれば、全く別の感じ方、感動のしかたが生まれてくるような感じがしてたまりません。

たとえば、患者の数が歯科医院の乱立の為に減少しても、また多くの仕事を抱えて自分の時間が持てないようなきびしい状況の中でも、考え方をさえれば明るくなるようです。

つまり自分たちよりも恵まれない人々が世の中に多くいることを認識し、自分の生活はその人に比較してみるとどんなに幸せにみつまれているかを考えてみて下さい。

今年は、自分の周囲を振りかえり感謝することを第一にして過ごしたいと思います。

(T. N)

熊本市歯科医師会会誌

第 76 号

発行日 平成4年2月25日発行

発行所 社団法人熊本市歯科医師会

熊本市坪井2丁目3番6号

TEL (343) 6669

FAX (344) 9778

発行
責任者

中 根 俊 吾

印刷所 株式会社 白 瀬

熊本県菊池郡西合志町須屋1927-1番地

TEL 096-346-1515 FAX 096-343-3303